

生駒市スポーツ推進審議会委員名簿

(五十音順・敬称略)

氏名	関係団体等
いけだ せいや 池田 誠也	一般財団法人生駒市スポーツ協会 会長
うらい よしひろ 浦井 善宏	帝塚山大学 元准教授
おかもと ひろし 岡本 洋	障がい者スポーツ活動実践者 (奈良県教育委員会事務局 特別支援教育推進室)
しも うすき いさお 下宇宿 勲	生駒市体育施設指定管理者 ((株)東京アスレティッククラブ TAC井出山スポーツパーク施設長)
たけうち さちこ 竹内 幸子	民間スポーツクラブインストラクター
ツカハラ アイ 塚原 愛	公募委員
なかい いちろう 中井 一郎	生駒市小中学校校長会 (生駒北小中学校長)
はやし ようこ 林 陽子	生駒市内総合型地域スポーツクラブ関係者 (いこ増ッスルクラブ運営委員)
まつお まさのり 松尾 正則	生駒市自治連合会 副会長
むらじ やすかず 連 靖和	生駒市スポーツ推進委員協議会 副委員長

任期: 令和4年7月1日から令和6年6月30日まで

令和4年度 事業計画

月	スポーツ推進審議会 事業計画(案)		市・市教委主催事業		スポーツ推進委員事業 (派遣事業含む)		指定管理者(体協)主管事業	
	日	事業名等	日	事業名等	日	事業名等	日	事業名等
4月			2	無料開放(生駒市体育協会総合S.C.) 上旬			2	無料開放(生駒市体育協会総合S.C.) 上旬
			16	無料開放(北大和) 市民体育大会			16	無料開放(北大和) 市民体育大会
5月			7	無料開放(むかいやま)			7	無料開放(むかいやま)
			8	市民体育大会 総合開会式	8	市民体育大会	8	市民体育大会 総合開会式
			21	無料開放(生駒市体育協会滝寺S.C.)			21	無料開放(生駒市体育協会滝寺S.C.)
			28	障がい者・児のためのスポーツ広場 (生駒市体育協会総合S.C.体育館)	28	障がい者・児のためのスポーツ広場 (生駒市体育協会総合S.C.体育館)		
6月			4	生駒山スカイウォーク			4	生駒山スカイウォーク
			〃	無料開放(小平尾南) 中旬			〃	無料開放(小平尾南) 中旬
			18	無料開放(TAC井出山)			18	無料開放(TAC井出山)
7月			2	無料開放(生駒市体育協会総合S.C.)			2	無料開放(生駒市体育協会総合S.C.)
	28	第1回スポーツ推進審議会	16	無料開放(生駒市体育協会滝寺S.C.)			16	無料開放(生駒市体育協会滝寺S.C.)
			30	障がい者・児対象温水プール開放 (TACきらめき)	24	第1回スポーツ推進委員協議会		
8月			6	無料開放(生駒市体育協会高山S.C.)			6	無料開放(生駒市体育協会高山S.C.)
			20	無料開放(生駒市体育協会滝寺S.C.)	27	奈良県スポーツ推進委員研修会	20	無料開放(生駒市体育協会滝寺S.C.)
			28	小学生水泳競技大会(TACきらめき)	下旬	あすか野地区グラウンドゴルフ大会	28	小学生水泳競技大会(TACきらめき)
9月			3	無料開放(北大和)			3	無料開放(北大和)
			17	無料開放(生駒市体育協会滝寺S.C.)			17	無料開放(生駒市体育協会滝寺S.C.)
10月			1	無料開放(むかいやま)	8	奈良県スポーツ推進委員初任者研修会	1	無料開放(むかいやま)
			15	無料開放(生駒市体育協会総合S.C.)	上旬	第2回スポーツ推進委員協議会	15	無料開放(生駒市体育協会総合S.C.)
			23	ファミリースポーツの集い (ドッジボール・ソフトボールなど)	22	障がい者・児のためのスポーツ広場 (生駒市体育協会総合S.C.体育館)		
					23	ファミリースポーツの集い (ドッジボール・ソフトボールなど)		
11月			5	無料開放(小平尾南)	5	I-NETスポーツ大会	5	無料開放(小平尾南)
			19	無料開放(むかいやま)	17～	全国スポーツ推進委員	19	無料開放(むかいやま)
	下旬	第2回スポーツ推進審議会	下旬	IKOMAマラソンチャンピオンシップ (生駒市体育協会高山S.C.)	～18	研究協議会(滋賀県)		
12月			3	無料開放(北大和)			3	無料開放(北大和)
			10	チャリロゲイこま2022(未定)	11	奈良マラソン2022派遣事業	17	無料開放(生駒市体育協会高山S.C.)
			17	無料開放(生駒市体育協会高山S.C.)				
1月								
2月			上旬	障がい者・児対象温水プール開放 (TACきらめき)	上旬	雪遊び&スポーツ体験		
					11～	近畿地区スポーツ推進委員		
	中旬	第3回スポーツ推進審議会			～12	研究協議会(兵庫県)		
					中旬	第2ブロック共用実技研修会		
3月			4	無料開放(むかいやま)	4	市町村対抗子ども駅伝大会	4	無料開放(むかいやま)
			11	障がい者・児のためのスポーツ広場 (生駒市体育協会総合S.C.体育館)	11	障がい者・児のためのスポーツ広場 (生駒市体育協会総合S.C.体育館)		
			上旬	トップアスリート連携事業 浅香山部屋交流事業				
			18	無料開放(生駒市体育協会総合S.C.)			18	無料開放(生駒市体育協会総合S.C.)
			下旬	いこまスポーツの日(高山S.C.)	下旬	いこまスポーツの日(高山S.C.)		
通年				地区別体力づくり活動事業 学校体育施設開放事業 スポーツ教室(21種目)		地域指導派遣事業		スポーツ教室(21種目)
開催日 調整中		スポーツ推進審議会県外研修会		トップアスリート連携事業		生駒市スポーツ推進委員研修会 生駒市老人クラブ連合会ボッチャ指導		

第2次 生駒市教育大綱

令和2年6月
生駒市

I 生駒市教育大綱の基本的な考え方

1 生駒市教育大綱の位置付けと期間

生駒市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下「教育大綱」といいます。）は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3の規定に基づき、総合教育会議での協議を経て、市長が策定するもので、本市の教育行政の根本となる方針と位置付けるものです。

前大綱を策定した平成28年6月から4年が経過し、推進期間が満了を迎えることから、社会情勢等の変化や新たな教育課題等に対応していくため、基本理念は維持しつつ、基本方針等において改訂を行うものです。本大綱は、策定の日から4年間をもって改訂の区切りとしますが、随時見直しの機会を確保します。

2 生駒市教育大綱・4つの特色

生駒市教育大綱の特色は以下の4つです。

(1) 関係者や市民の「協創」による策定

前大綱策定時と同様に、総合教育会議を6回開き、徹底的な議論を行ったほか、特に重点的に推進すべき分野について、学校現場や社会教育機関などの関係者からのヒアリングや、パブリックコメントの実施など、「協創(※1)」の考え方に基づいた策定プロセスを採りました。

(2) マニフェストや総合計画などとの整合性の確保と効果的な連携

市長の施政方針やマニフェストを踏まえ、また、総合計画や他の関係する計画との整合性の確保・積極的な連携を図ることにより、学校教育はもちろん、生涯学習、子育て・就学前教育など、幅広い視点と実効性を持つ教育大綱としました。

(3) 地域力を最大限生かした教育（ひとづくり）によるまちづくり

これから市の教育を支えていくためには、行政だけではなく、さらなる地域力の活用が必要不可欠であり、子育てや学校教育、生涯学習のすべての分野において、地域力を最大限生かした取組（「ひと」づくり）によって、生駒の「まち」のさらなる活性化につなげていきます。

(4) 第1次生駒市教育大綱を踏まえつつ、4年間で実現すべき新たな方向性を整理

平成28年に策定した第1次生駒市教育大綱における推進状況を踏まえ、中長期的視点を維持しつつ、社会情勢等の変化や新たな教育課題に対応した方向性を再度整理しました。

(※1)協創：協力して創り上げること。人と人とをつないでネットワークを作り、そのネットワークを活用して具体化し、成果を生み出していくこと。生駒市のまちづくりを進めるための新しい概念。

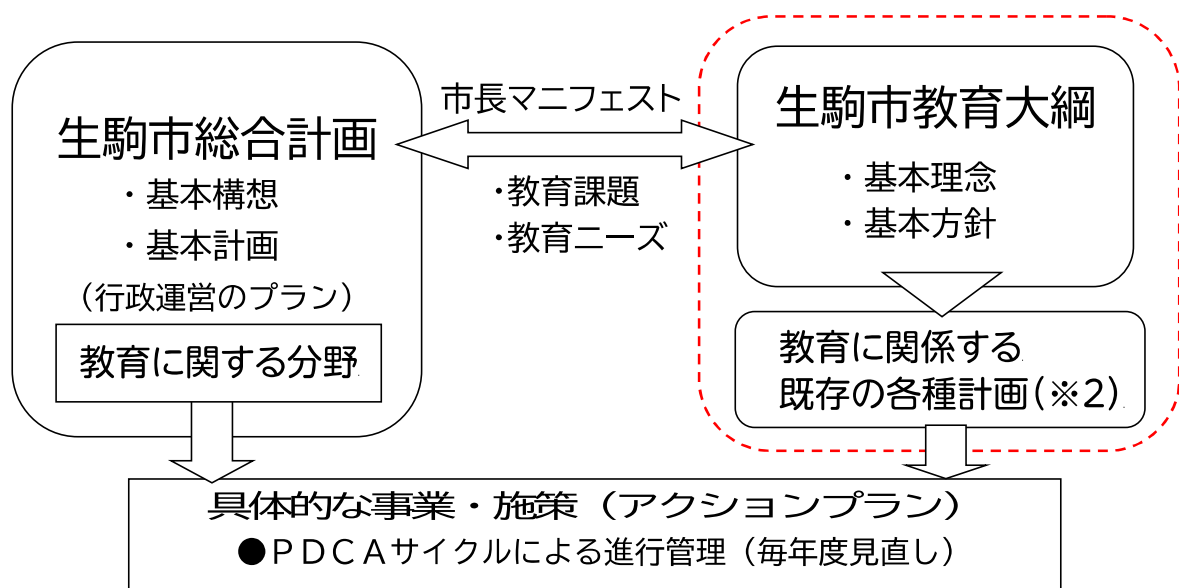
3 教育大綱と他の計画との関係

教育大綱は、前述の4つの特色を前提に、「基本理念」「基本方針」から成り立ち、「Ⅲ教育大綱策定後の進行管理」によって、実効性を担保しています。

また、それらを実現するための個別具体の施策は、本市のまちづくりの指針であり、行政運営のプランである第6次生駒市総合計画第1期基本計画及び同計画に基づく具体的な事業・施策並びに市長マニフェストの中に整理し、進めていきます。

あわせて、家庭教育、地域社会との協働、文化やスポーツ、産業、国際化など教育に関係する既存の各種計画に位置付けられている具体的な事業・施策の中で、教育大綱の基本方針に定めた内容を毎年度具体化し、社会変化に適切に対応していきます。

(以下、これらの具体的な事業・施策のことを「アクションプラン」といいます。)



(※2)教育に関する既存の各種計画

方針・計画名	所管課	策定年月	根拠法令等	計画期間	内 容
生駒市学校教育の目標	教育指導課	毎年度	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	1年	生駒市が目指す子ども像、重点目標、目標実現に向けた取組を提示する。
生駒市社会教育基本方針及び重点目標	生涯学習課	毎年度	社会教育委員会議において策定	1年	生駒市生涯学習推進基本方針（H19年3月策定）を基に、成果を検証し、重点目標を定め、施策を推進する。
生駒市スポーツ推進計画（生駒市スポーツ振興基本計画後期計画）	スポーツ振興課	H28年3月	スポーツ基本法第10条	5年	市のスポーツに関する施策を総合的に推進するための目標と目標達成のための方針を示す。
生駒市子ども読書活動推進計画	図書館（生涯学習課）	H17年3月	子ども読書活動の推進に関する法律第9条	H17年～	「伝えよう、ときどき わくわくを！」を合言葉に、家庭・地域・学校が連携して読書環境の整備を進める。（5年経過時点で成果を検証、計画内容を精査し継続）
生駒市子ども・子育て支援事業計画	こども課	R2年3月	子ども子育て支援法第61条	5年	教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を総合的、計画的に推進する。
生駒市通学路交通安全プログラム	教育総務課	H26年4月	（文科省からの通知による）	—	関係機関の連携体制を構築し、通学路の安全確保に向けた取組を実施する。

Ⅱ 生駒市の教育に関する基本的な方向性

1 基本理念

「遊ぼう」「学ぼう」「生きよう」みんなでいこまを楽しもう

社会が大きく変動し、多様化が進む 21 世紀。

その中にあって、変化を恐れず、むしろワクワクする挑戦の機会ととらえることで人生をより楽しむことができます。

「遊ぶ」とは、目的にとらわれず、自由に発想し、行動し、おおいに日々を「楽しむ」こと。

「学ぶ」とは、生涯を通して、ライフステージに応じて、知り、経験し、成長し続けることを「楽しむ」こと。

「生きる」とは、遊び、学び、人や地域との積極的な関わりや豊かなつながりを通して、人生を「楽しむ」こと。

そのような市民の毎日が、ますます素敵な「いこまびと(※3)」を育て、ひいては、住み続けたいまち「いこま」、大きく羽ばたいた後にもいつかは戻ってきたくなるまち「いこま」を創り、誰もが活躍できる楽しく豊かな未来へとつながっていくのです。

(※3)いこまびと：生駒を愛し、「共同・協同・協働」や「自立・自律」ができる人。互いに認め合い、人を思いやる豊かな心と、国際化の時代に対応できる力を持ち、社会で生き抜く人。

平成 27 年 10 月及び 11 月に開催したワークショップでは、「こんな人になりたい」「こんな人でありたい」と思う生駒市民のことを「いこまびと」と表現し、「いこまびと」を目指して、どう学び合えばよいのか等グループ討議を行った。

2 基本方針

<子育て・就学前教育>

基本方針1 子育てを楽しめる地域づくり

1 保護者支援の場・コミュニティづくり

- 未来の宝である“いこまっこ（いこまの子どもたち）”が安心して成長できるよう、家庭・地域・学校・事業者・行政が連携し、地域全体で見守り育みます。
- 虐待のリスクを見逃さず、子どもたちの安全・安心を最優先に、地域をはじめとする関係機関が連携し、児童虐待の未然防止・早期発見に取り組みます。
- 子育て世代の保護者が孤立せず、子どもたちが安心して成長できるよう、児童委員と連携を進めるとともに、悩みを共有・共感・相談できる場や、子育てを地域で支えあうためのコミュニティを構築します。また、男性の育児を促す取組を進めるとともに、ひとり親家庭など、様々な家族の形に適応した支援を行います。

2 「遊び」を「学び」につなぐ就学前教育の充実

- 今後のニーズ等を踏まえた幼稚園、保育園、こども園などの就学前教育の環境整備はもちろん、その教育内容についても、「遊び」を通して創造的な「学び」につなぐとともに、保幼小接続事業を進めます。また、地域住民との世代間交流や事業者との連携など、より多様な主体と力を合わせた「協創」による楽しく充実した取組を実践します。

<学校教育>

基本方針2 21世紀を生き抜くしなやかでたくましい人づくり

1 「地域に開かれ、地域とともにある学校づくり」の推進

- 学校・保護者・地域住民の協働を通じて、子どもたちの豊かな成長を支え育むため、地域活動の拠点となる、「地域とともにある学校」の実現に向け、コミュニティ・スクールを推進します。

2 ICT機器を活用した新たな学びの創出と時代に応じた環境整備

- ICT機器の整備による習熟度別学習や講義形式にとらわれない自由で効果的な学びのスタイルを構築するとともに、安全・安心で、時代の要請に応じた教育環境の整備・充実に取り組みます。

3 多様性を認める柔軟性とやさしい心の育成

- いじめを許さない学校づくりをはじめ、個々人の違いや多様性を認め合い、子ども

たち一人一人が命の大切さを学ぶ具体的な機会を確保するなどの人権教育を進めることにより、自他ともに大切に作るやさしい心を育成します。

- 特別支援教育や学習支援を必要とする子どもたちへの合理的配慮など、きめ細かな教育をより一層実践します。

4 主体的に学び、挑戦を続けるたくましい心身の育成

- 「主体的に行動する力」「課題を見つけ、解決する力」「グローバル時代に対応する語学力」「他者と協働するためのコミュニケーション能力」を育成する学びや子ども一人ひとりの個に対応した学びを充実します。
- 子どもたちの「得意なこと」や「好きなこと」を通じて、将来の「自立」を実感することができる実体験を増やすことで、興味ある分野への好奇心を促し、失敗しながらもチャレンジをし続ける、逆境に負けないたくましい心身を育成します。

5 「楽しい授業づくり」のための教職員の育成と環境整備

- これらの学校教育の発展を確かなものとし、子どもたちが、授業が「分かる」「楽しい」と感じることができるよう、教職員の能力向上につなげる研修や、校務支援システムの導入などによる働き方改革を進め、子どもとしっかりと向き合える環境づくりを推進します。

<生涯学習>

基本方針3 すべてのライフステージで、楽しみながら学び、地域とつながる機会づくり

1 すべての人が楽しく、安心して成長し、活躍できる機会の創出

- 乳幼児から高齢者まで、すべてのライフステージや個々のケースに応じて学び、楽しめる機会を増やし、市民の一体感を醸成します。また、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりはもちろんのこと、市民の生涯学習を、学校と地域との連携や地域課題への担い手としてまちづくりにつなげる具体的な取組を進めます。
- 障がいの有無、国籍、性別、年齢などによる差別をなくし、人権を尊重し、多様性を認め合う学びや体験の場を創ります。また、心の健康について学ぶ機会の提供や、社会での「生きづらさ」を抱える子ども、若者の再挑戦を応援するための相談体制の充実など、困ったときには人に援助を求めながら、すべての人が安心して学び、成長できる環境整備を進めます。

2 人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる可能性に満ちた図書館づくり

- 図書館をまちづくり活動の拠点とし、人と本、人と人をつなぐとともに、様々な活動を通じた市民同士のネットワークの構築など、さらなる発展を目指した取組を進めます。

3 歴史・伝統文化・芸術を通じた、より豊かなまちの実現

- 全国に誇る「茶筌」「音楽」をはじめとする歴史、伝統文化、芸術を学び、体験する機会を拡充し、郷土いこまへの誇りと愛情を醸成します。

4 「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの発展

- スポーツを通して、仲間の輪が広がり、誰もがいきいきと笑顔あふれるまちづくりを進めるため、高齢者・障がい者を含めたあらゆる市民が、スポーツを身近な地域で気軽に行うことができる環境整備や、トップアスリートと触れ合うことができる機会づくりを進めます。

III 教育大綱の進行管理

生駒市教育大綱については、4年に1回の改訂としていますが、毎年度策定するアクションプランについては、実行と改善を絶えず繰り返し、実効性を担保したシステムとします。

また、第2次生駒市教育大綱の策定中に発生した新型コロナウイルス感染症の経験を生かし、市民の安全・安心を確保しつつ、インターネットのさらなる活用や、より深い地域との関わりなどを含む、より良い学びの場の充実に向けた取組をアクションプランにおいて反映していきます。

なお、外部評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況について、学識経験者による点検・評価を行うこととなっており、これを活用して行うものとします。

第2次生駒市教育大綱 アクションプラン

＜令和4年度＞

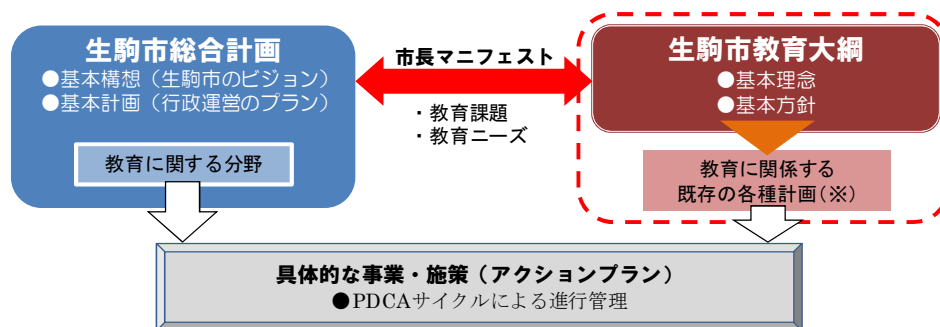


生駒市教育委員会

第 2 次生駒市教育大綱アクションプランとは

生駒市では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 1 条の 3 の規定に基づき、令和 2 年 6 月に一部を改訂した市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱である「第 2 次生駒市教育大綱」を定め、本大綱に基づく事業・施策を進めています。

第 2 次生駒市教育大綱で定めた”基本理念”と”基本方針”に基づく施策・事業や、第 6 次生駒市総合計画第 1 期基本計画及び既存の計画における教育分野に関する事業等を整理し、この 4 年間で特に重点的に取り組むべき事業を定めたものを『アクションプラン』とし、個々の「事業」を設定するとともに、各年度の具体的な「取組内容」を掲げ、得られる効果として「達成目標」を定めています。



第 2 次生駒市教育大綱アクションプランの期間

第 2 次生駒市教育大綱については、期間を策定の日から 4 年間としています。アクションプランについては、第 6 次生駒市総合計画第 1 期基本計画や市長マニフェスト、教育課題、社会ニーズ等を踏まえた事業を記載するとともに、毎年度、事業ごとに目標や取組内容の達成状況・効果等の点検評価し、社会情勢等を踏まえ、柔軟に取組内容や設定目標等の見直しを図っていくこととします。

第 2 次生駒市教育大綱アクションプランの進行管理

第 2 次生駒市教育大綱については、4 年に 1 回の改訂としていますが、毎年度策定するアクションプランについては、実行と改善を絶えず繰り返し、実効性を担保したシステムとします。

外部評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況について、学識経験者の点検・評価を行うこととなっており、これを活用して行うものとします。

第2次生駒市教育大綱体系図・目次

基本理念 「遊ぼう」「学ぼう」「生きよう」 みんなでいこまを楽しもう

頁

基本方針1 子育てを楽しめる地域づくり

1 保護者支援の場・コミュニティづくり

1

- ・子ども家庭総合支援拠点の充実
- ・地域で支え合う子育ての推進
- ・男性の育児を促す取組の推進【変更】
- ・待機児童解消に向けた取組の推進
- ・地域子育て支援拠点事業
- ・学童保育の充実
- ・家庭・学校・地域が連携した家庭教育の支援

2 「遊び」を「学び」につなぐ就学前教育の充実

4

- ・幼児期の教育と小学校教育の育ちをつなぐ保幼小接続事業
- ・保護者・地域と連携した特色ある幼稚園運営の取組
- ・公立幼稚園のあり方に関する検討事業【変更】

基本方針2 21世紀を生き抜くしなやかでたくましい人づくり

1 「地域に開かれ、地域とともにある学校づくり」の推進

6

- ・コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の推進【変更】

2 ICT機器を活用した新たな学びの創出と時代に応じた環境整備

7

- ・GIGAスクール構想をはじめとした令和の日本型教育の実証事業
- ・ICTを活用した教育の推進
- ・ICT活用教育リーダー育成研修の実施
- ・プログラミング教育の推進
- ・ICT活用教育支援事業【変更】
- ・小・中学校のあり方検討事業【変更】
- ・中学校トイレ改修事業【変更】
- ・学校施設の計画的な大規模改修事業【変更】
- ・学校給食センター整備事業

3 多様性を認める柔軟性とやさしい心の育成

11

- ・自殺対策推進事業【変更】
- ・ICT機器を安全に活用するための情報モラル教育の推進
- ・いじめ防止等の施策推進【変更】
- ・特別支援教育の充実
- ・小学生を対象とした適応指導教室の開設【新規】

4 主体的に学び、挑戦を続けるたくましい心身の育成

13

- ・読書活動・学校図書館の充実
- ・社会に開かれた学校教育推進事業
- ・部活動支援事業
- ・生駒こどもチャレンジ補助事業
- ・チャレンジ！やさしくたくましいいこまっ子キャンプ

5 「楽しい授業づくり」のための教職員の育成と環境整備

15

- ・教職員がいきいきと子どもと向き合う時間創造プログラムの推進【変更】
- ・グローバル時代に対応した外国語教育の推進
- ・問題発見力や他者と協働するコミュニケーション能力の育成

基本方針3 すべてのライフステージで、楽しみながら学び、地域とつながる機会づくり

1 すべての人が楽しく、安心して成長し、活躍できる機会の創出

17

- ・幅広い世代への学ぶ機会の提供と地域の人材活用
- ・市民同士の交流や地域参画を促す学びの場の展開【新規】
- ・高齢者の学びへの意欲向上と、学びを「行動」につなげる仕組みづくり
- ・困難を抱える子ども・若者に対する支援の充実
- ・多様性を認め合う場の提供
- ・家庭・学校・地域が連携した家庭教育の支援【再掲】

2 人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる可能性に満ちた図書館づくり

20

- ・子ども読書活動の充実【変更】
- ・「人を通して知る」「本を通して人を知る」とキャッチフレーズとするビブリオバトル全国大会の開催
- ・市民との連携や「協創」のもと、まちづくりの拠点となる図書館づくり
- ・図書館読書バリアフリー事業【新規】

3 歴史・伝統文化・芸術を通じた、より豊かなまちの実現

22

- ・『生駒市史』編さん事業【変更】
- ・歴史・伝統文化の学びの場の提供と情報発信
- ・市民との「協創」による「音楽のまち生駒」の発信

4 「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの発展

24

- ・第2次スポーツ推進計画策定事業【新規】
- ・総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業
- ・みんなのスポーツ推進事業【変更】
- ・トップアスリート連携事業

<子育て・就学前教育>

基本方針 1 子育てを楽しめる地域づくり

1 保護者支援の場・コミュニティづくり

[現状と課題]

子育て世代の保護者が孤立せず、子どもたちが安心して成長できるよう、子育てに関する悩みを共有・相談できる場の設定や子育てを地域で支え合うためのコミュニティを構築していく必要があるとともに、待機児童の解消に向けた取組や学童保育の充実など、国の幼児教育・保育の無償化や共働き世帯の増加、保護者ニーズの多様化を踏まえた保育サービス、学童保育の充実を図っていくことが必要となっています。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	子ども家庭総合支援拠点の充実			
事業の概要	子育て家庭と妊産婦等を支援するため、関係機関と連携し支援することにより、虐待の未然防止・早期発見に努める。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・拠点に必要な専門職の配置及び相談体制の充実 ・生駒市要保護児童対策地域協議会の運営			
目標値	—	—	—	—
担当課	子育て支援総合センター・こどもサポートセンター			

事業名	地域で支え合う子育ての推進			
事業の概要	・ファミリー・サポート事業の周知を図り、子育てを地域で支えあうためのコミュニティを構築する ・子育てシェアを広げるための地域交流会の開催、及び地元ママサポーターや会員による子育てシェアの拡大をサポートする			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・ファミリー・サポート事業の周知 ・子育てシェアの交流会の開催、及び事業周知のサポート			
目標値	—	—	—	—
担当課	子育て支援総合センター			

事業名	男性の育児を促す取組の推進【変更】			
事業の概要	父親が育児を自らのことと捉えられるよう、父親の子育てを後押しする事業を実施する。			
目標名/現状値	父親向け・夫婦向け講座の回数		4 回(令和 2 年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・パパセミナー/3期 ・夫婦で聞く前向き子育てセミナー/1回	 ・Papa's みっきランドの開催		 ・Papa's みっきランドの実施結果を踏まえた講座等の検討
目標値	—	—	5 回	5 回
担当課	子育て支援総合センター			

事業名	待機児童解消に向けた取組の推進			
事業の概要	令和 6 年度までの待機児童解消に向け、小規模保育所の新設、保育人材確保、保育コンシェルジュ相談事業を実施する。			
目標名/現状値	待機児童数(各年度 4 月 1 日現在)		65 人(令和2年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・小規模保育所の開設に向けた公募 ・保育士確保事業の実施	・小規模保育所の公募等、地域型保育事業の推進 ・保育士確保事業の実施		
目標値	122 人	108 人	63 人	5 人
担当課	こども課			

事業名	地域子育て支援拠点事業			
事業の概要	乳幼児及びその保護者の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。			
目標名/現状値	利用人数		34,684 人(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・年間を通して、市内 10 か所で事業実施			
目標値	46,568 人	47,067 人	47,571 人	48,081 人
担当課	こども課・子育て支援総合センター			

事業名	学童保育の充実			
事業の概要	増加する学童保育需要に対応するため、生駒市学童保育運営協議会が運営する学童保育所の環境整備、指導員確保などによる体制づくりに取り組むとともに、新たなニーズに応えるため、民間事業者による学童保育事業を促進する。			
目標名/現状値	民間学童保育所数		6 か所	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・運営協議会に対する支援 ・民間事業者を対象としたセミナーの実施	・民間事業者参入を図るための公募 ・運営協議会に対する支援 ・民間事業者に対する支援		
目標値	6 か所	6 か所	7 か所	8 か所
担当課	こども課			

事業名	家庭・学校・地域が連携した家庭教育の支援			
事業の概要	子育ての不安解消や地域でのつながりづくりなどを目的に、地域で子育て支援等に関わる市民との協働により立ち上げた生駒市家庭教育支援チーム「たけのこ」を中心に、学校園などとの連携のもと親子や保護者を対象とした交流事業や家庭教育に関する情報発信などに取り組む。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・家庭教育支援チーム「たけのこ」による取組の実施 ・取組の情報発信 ・チームメンバーの研修	 ・学校園への訪問	 ・個別相談の試行	
目標値	—	—	—	—
担当課	生涯学習課			

2 「遊び」を「学び」につなぐ就学前教育の充実

[現状と課題]

本市では、3歳児保育希望者の全員受入れや預かり保育、幼小中連携事業など特色ある幼稚園運営に取り組んでいますが、共働き世帯の増加や保護者ニーズの多様化により幼稚園の園児数は減少傾向にあります。より一層就学前教育の充実を図るため、引き続き保幼小接続カリキュラムをはじめとする特色ある幼稚園運営を実施していくとともに、今後の幼稚園の役割について検討を行っていく必要があります。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	幼児期の教育と小学校教育の育ちをつなぐ保幼小接続事業			
事業の概要	保育所と幼稚園の学びを連続性・一貫性のある教育として小学校へつなぐ。			
目標名/現状値	保幼小推進接続会議の開催回数		3回(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・2学期からの推進会議実施 ・職員間交流の計画と実施	・推進会議実施 ・園児及び職員間交流の計画と実施		
目標値	2回	3回	3回	3回
担当課	こども課・教育指導課			

事業名	保護者・地域と連携した特色ある幼稚園運営の取組			
事業の概要	「遊び」を「学び」につなぐ幼児教育を可視化し、保護者・地域の市民力を保育に取り入れ、特色ある幼稚園運営を行う。			
目標名/現状値	保護者・地域との協働回数		6回(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・保育を可視化し、分析する職員研修の実施 ・教育目標を発信し、保護者・地域の保育参加を実施	・保育を可視化するためプリント作成、配布 ・コロナ禍で可能な保育参加活動を実施 ・園評価をホームページに掲載	・コロナ禍における保護者、地域との協働にかかる取組の検討 ・教育目標を発信する手段を工夫し、発信回数を増加	
目標値	6回	6回	6回	6回
担当課	こども課・各幼稚園			

事業名	公立幼稚園のあり方に関する検討事業【変更】			
事業の概要	令和2年2月に答申を受けた「今後の生駒市立幼稚園のあり方について」を踏まえ、幼稚園のこども園化の実現性や園規模の適正化に向けた検討を進めていく。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・答申を踏まえた公立幼稚園のあり方に関する検討	・地域協議会の開催 ・協議会からの意見書を踏まえた方向性の検討	・壱分幼稚園こども園化への検討 ・その他、方向性に基づく各種取組の検討、実施	
目標値	—	—	—	—
担当課	こども課			

<学校教育>

基本方針 2 21 世紀を生き抜くしなやかでたくましい人づくり

1 「地域に開かれ、地域とともにある学校づくり」の推進

[現状と課題]

これまでも学校は地域活動の拠点として、地域ぐるみなどの活動によって、保護者や地域住民に支えられて運営されてきましたが、学校運営に関してさらに保護者や地域に関わってもらう仕組みを推進し、学校と地域が一体となって、子どもたちの学びを支えていくことが求められています。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の推進【変更】			
事業の概要	学校と地域住民等が力を合わせて子どもたちの成長を育むため、地域住民等が学校運営に取り組むことが可能となる学校運営協議会を各小・中学校に設置し、地域とともにある、地域に開かれた学校を推進する。地域の現実に即した当事者能力を子どもたちに育むため、学校運営協議会によるカリキュラムの提案も歓迎する。			
目標名/現状値	学校運営協議会設置校数 学校運営協議会の開催回数	0校(令和元年度) 0回(令和元年度)		
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・学校運営協議会 をモデル校に設 置、開催	・学校運営協議会 を全小中学校に 設置、開催	・学校運営協議会 の開催	
目標値	3校・6回	全校・38回	全校・57回	全校・57回
担当課	教育指導課・教育総務課			

2 ICT機器を活用した新たな学びの創出と時代に応じた環境整備

[現状と課題]

主体的・対話的で深い学びを充実するための一つの手段として、1人1台のPC端末やLAN環境の整備などの環境整備を行いました。この環境を有効に活用するため、積極的にICT機器を活用し、子どもたちの協働活動や習熟度別学習などの新たな学びのスタイルを創り上げていくことが求められています。そのために新しい発見や豊かな発想が生まれるような授業の研究と実践(改善)を推進する必要があります。

また、老朽化が進む学校施設について、厳しい財政状況や将来的な児童生徒数も踏まえて計画的に改修を進めていく必要があります。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	GIGA スクール構想をはじめとした令和の日本型教育の実証事業			
事業の概要	GIGA スクール構想に基づき配備された児童生徒1人1台のPC 端末を効果的に利用することにより、ICT を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による新しい学びの形をいこまモデルとして提案し、日常的な指導において日々改善を図ることで効果を定着させる。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		・事業内容の検討 及びモデル校の 選定 ・実施結果を踏ま えた検証・メニ ュー化等の検討	・全校での実施に 向けた各校への 周知 ・各校での実践	
目標値	—	—	—	—
担当課	教育指導課			

事業名	ICT を活用した教育の推進			
事業の概要	全小中学校に児童生徒1人1台整備された情報端末を生かした学習指導計画を立案し、日常的学習活動に位置づけることで、学習内容理解の充実を図るとともに、ICTを活用した新しい学習形態を実現する。			
目標名/現状値	活用報告事例数		0 件(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・校内 LAN の整 備 ・1 人 1 台 PC 端 末を配備	・情報端末を活用 した授業の展開		
目標値	96 件	192 件	288 件	384 件
担当課	教育指導課			

事業名	ICT活用教育リーダー育成研修の実施			
事業の概要	校務処理や教材開発などに係る高度な ICT スキルを身に付けた教員を育成することで、学校における ICT 利用の日常化を図るとともに、指導場面における効果的な ICT 利用の形態を提案し、実証することのできる教員の育成を図る。			
目標名/現状値	研修の実施回数		0 回(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・ICT活用教育リーダー育成研修の実施		・リーダー研修後、各校で職員研修の実施	
目標値	3 回	5 回	7 回	10 回
担当課	教育指導課			

事業名	プログラミング教育の推進			
事業の概要	小学校の学習活動の中でプログラミング的思考の育成を各教科等の授業で進めていくため、「プログラミング教育推進計画」を策定し、プログラミング教育を実施する。			
目標名/現状値	1 校当たりの平均授業時間数		0 時間(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・プログラミング教育推進計画の作成 ・授業実施 1～4 年:2 時間 5・6 年:6 時間	 ・授業実施 1～4 年:4 時間 5・6 年:8 時間	・授業実施 1～4 年:6 時間 5・6 年:12 時間 ・授業実践の交流	・授業実施 1～4 年:8 時間 5・6 年:14 時間
目標値	20 時間	32 時間	48 時間	60 時間
担当課	教育指導課			

事業名	ICT 活用教育支援事業【変更】			
事業の概要	全小中学校に児童生徒1人1台整備した PC 端末を、授業等で円滑に活用するため、ICT 支援員を配置する。			
目標名/現状値	ICT 支援配置回数		週0回(令和2年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・校内 LAN の整備 ・1人1台 PC 端末を配備	・小中学校 19 校に支援員を週1回配置 ・各校のニーズ等を踏まえ、ICT 支援員の配置についての検証	・R3年度の配置の検証を踏まえた ICT 支援員の配置 ・県域ICT支援センターの活用	
目標値	週 0 回	週 1 回	週 1 回	
担当課	教育指導課・教育総務課			

事業名	小・中学校のあり方検討事業【変更】			
事業の概要	令和2年2月に答申を受けた「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」を踏まえ、学校規模の適正化に向けた検討を進めていく。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・答申を踏まえた小・中学校のあり方に関する検討	・地域協議会の開催 ・協議会からの意見書を踏まえた方向性の検討	・方向性に基づく各種取組の検討、実施	
目標値	—	—	—	—
担当課	教育総務課・教育指導課			

事業名	中学校トイレ改修事業【変更】			
事業の概要	老朽化が顕著である全中学校の校舎のトイレ改修(洋式化・乾式化)を順次行い、生徒の日常的な学校環境を改善する。			
目標名/現状値	改修実施校累計数		3 校	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・設計 ・工事	・工事	・生駒南中学校トイレ洋式化改修工事	
目標値	5 校	7 校		
担当課	教育総務課			

事業名	学校施設の計画的な大規模改修事業【変更】			
事業の概要	建設から 40 年程度経過している学校施設について、老朽化が進んでいることから、順次計画的に改修を行っていく。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			・設計	・設計 ・工事
目標値	—	—	—	—
担当課	教育総務課			

事業名	学校給食センター整備事業			
事業の概要	中学校給食センターの老朽化に伴う施設の改修と更新			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・基本設計・実施設計	・工事(2カ年) ・施工管理(2カ年) ・厨房設備購入(2カ年)		・工事(床等) ・施工管理(床等)
目標値	—	—	—	—
担当課	学校給食センター			

3 多様性を認める柔軟性とやさしい心の育成

[現状と課題]

平成29年3月に策定した「いじめ基本方針」に基づく具体的な取組を引き続き進めていくとともに、スマートフォンやSNSの使い方など、インターネットリテラシーなどの情報教育の育成にも取り組んでいく必要があります。

また、特別な支援を要する子どもたちが、近年増加傾向にあり、よりきめ細かな特別な支援が必要となることから、さらなる体制の充実が必要となっています。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	自殺対策推進事業【変更】			
事業の概要	平成31年3月に策定した「生駒市自殺対策計画」に基づき、「SOS の出し方に関する教育」の研修を実施する。そして児童生徒の心身の状況の把握や児童生徒への相談窓口の周知徹底を行い、スクールカウンセラー等の活用を実施する。			
目標名/現状値	研修回数		0回(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		・養護教諭対象の研修会の開催 ・各校にて職員研修の開催	・初任者研修での実施 ・各校にて児童生徒に対して開催	
目標値	0回	20回	21回	21回
担当課	教育指導課			

事業名	ICT 機器を安全に活用するための情報モラル教育の推進			
事業の概要	情報社会における安全やルールを児童生徒が主体的に考え、正しく理解し行動するための情報モラルを育成する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・スマホサミット2020を開催し、情報端末の適正な利用に関するワークショップの開催 ・ワークショップ結果報告を学校で活用	・児童生徒が主体的に考え、正しく行動するためのルール作りの実施 ・スマホサミット2021を開催し、各校の取組の交流		
目標値	—	—	—	—
担当課	教育指導課			

事業名	いじめ防止等の施策推進【変更】			
事業の概要	平成29年3月に策定した「生駒市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止、早期発見につながる取組を推進する。			
目標名/現状値	いじめ問題対策連絡協議会開催回数		2回(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・生駒市いじめ問題対策連絡協議会の開催		・「生駒市いじめ防止基本方針」の改訂 ・生駒市いじめ問題対策連絡協議会の開催	
目標値	2回	2回	2回	2回
担当課	教育指導課			

事業名	特別支援教育の充実			
事業の概要	特別支援学級在籍児童生徒の学習支援、機能回復のための環境及び体制の充実を図る。			
目標名/現状値	特別支援教育相談日数		33日(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・特別支援教育相談の実施			
目標値	33日	33日	33日	33日
担当課	教育指導課			

事業名	小学生を対象とした適応指導教室の開設【新規】			
事業の概要	学校に登校しにくい児童に対して居場所となる適応指導教室を生駒南第二小学校の校舎の一部に開設する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			・生駒南第二小学校内に、教育相談室、適応指導教室の開設	
目標値	—	—	—	—
担当課	教育指導課			

4 主体的に学び、挑戦を続けるたくましい心身の育成

[現状と課題]

「生きる力」としての「主体的に行動する力」「課題を見つけ、解決する力」「グローバル時代に対応する語学力」「他者と協働するためのコミュニケーション能力」を育成し、これからの社会の中においても、生き抜く力を身につけることができる学びの環境を充実していくことが求められています。

また、自分の夢を持ち、自己有用感を高めることができる心の教育と健やかな体を育成する取組に引き続き取り組んでいく必要があります。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	読書活動・学校図書館の充実			
事業の概要	現在、小中学校すべてに学校司書を配置しており、一定の効果が得られているが、さらに読書を通じて豊かな人間性を育むため、学校司書の配置を拡充する。			
目標名/現状値	学校司書配置日数 市内中学生ビブリオバトル開催数	週 3 日(令和元年度) 1 回(令和元年度)		
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
・学校司書を全小中学校に配置 ・ビブリオバトル市内中学生大会の実施				
目標値	週 3 日・1 回	週 3 日・1 回	週 3 日・1 回	週 3 日・1 回
担当課	教育指導課			

事業名	社会に開かれた学校教育推進事業			
事業の概要	あこがれいこまびと講演事業、学校教育創造推進事業、キャリア教育プランナーとの連携事業による、地域出身の文化人、スポーツ関係者、事業者等、社会で活躍されている方との講演等を通して、児童生徒が郷土愛を持ち、自分の夢に向かって生き生きと活動し、自己有用感を持って将来社会で活躍できる人材を育成する。			
目標名/現状値	キャリア教育プランナーとの連携事業実施回数	0回(令和元年度)		
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
・あこがれいこまびと講演事業、学校教育創造推進事業、キャリア教育プランナーとの連携事業の実施				
目標値	11回	15回	17回	19回
担当課	教育指導課			

事業名	部活動支援事業			
事業の概要	中学校において、専門的な技術指導力を備えた指導者が不在の部に対し、地域の適切な人材を外部指導者として派遣し、部顧問と協力して指導・助言を行わせることにより、部活動を充実させる。			
目標名/現状値	部活動指導員配置時間数		1079 時間(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・中学校に外部指導者を配置			
目標値	1440 時間	1440 時間	1440 時間	1440 時間
担当課	教育指導課			

事業名	生駒こどもチャレンジ補助事業			
事業の概要	学校の各種コンテスト等に挑戦するために必要となる経費等を補助する制度を創設し、児童生徒の創造性を培い、達成感を味わうとともに、自己肯定感を高める。			
目標名/現状値	実施学校数		2 校(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・生駒こどもチャレンジ補助事業の継続実施			
目標値	2 校	2 校	2 校	2 校
担当課	教育指導課			

事業名	チャレンジ！やさしくたくましいこまっ子キャンプ			
事業の概要	既存の自然体験学習のメニューとして防災キャンプを加え、児童の防災意識を高め、命を守ることの大切さを再認識し、災害発生時に自分の命を守る行動を身につける。			
目標名/現状値	実施学校数		12 校	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・各小中学校の判断に基づくこまっ子キャンプの実施			
目標値	12 校	12 校	12 校	12 校
担当課	教育指導課			

5 「楽しい授業づくり」のための教職員の育成と環境整備

[現状と課題]

教職員の働き方改革に積極的に関わり、「教職員がいきいきと子どもと向き合う時間創造プログラム」を着実に実施していますが、子どもたちの 21 世紀を生き抜く力を育成するためには、授業が「分かる」「楽しい」と思い、学びの喜びを感じることが必要であり、そのためには、教職員が子どもたちとしっかりと向き合い、能力の向上に努めることができる環境づくりが必要です。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	教職員がいきいきと子どもと向き合う時間創造プログラムの推進【変更】			
事業の概要	教職員が健康でいきいきとやりがいをもって働ける環境整備を行い、教職員が授業や教材研究等に集中し、ゆとりをもって子どもたちと向き合う時間の拡充を図る。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・スクールサポートスタッフのモデル配置(2校) ・校務支援システムの本格運用 ・給食費徴収システムの導入	・スクールサポートスタッフの全校配置 ・校務支援システムの運用		 ・部活動の段階的な地域移行
目標値	—	—	—	—
担当課	教育総務課・教育指導課			

事業名	グローバル時代に対応した外国語教育の推進			
事業の概要	小学校1年生から英語の楽しさを感じられる取組を行い、小中学校 9 年間を通した系統的な英語教育カリキュラムを実施する。			
目標名/現状値	全国学力調査より「①英語の勉強は好きですか」「②英語の授業で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができましたか」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合		小学校(6年)①R2:61.8% ②R2:64.0% 中学校(3年)①R2:56.2% ②R2:59.9%	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・年間小学校 1,2 年生で 10 時間程度、小学校3・4年生で35時間英語活動、小学校5・6年生で70時間英語を実施(ALT、わくわくイングリッシュサポーターを配置)			
目標値		小学校(6年) ①65.0②65.0 中学校(3年) ①58.0②60.0	小学校(6年) ①67.0②67.0 中学校(3年) ①61.0②62.0	小学校(6年) ①70.0②70.0 中学校(3年) ①65.0②65.0
担当課	教育指導課			

事業名	問題発見能力や他者と協働するコミュニケーション能力の育成			
事業の概要	21世紀を生き抜く力として、授業において、日常の疑問を発見する力やコミュニケーション能力の育成を図るとともに、必要となる教職員の能力育成のための研修を強化する。			
目標名/現状値	生駒市教育研修会参加者数		0人	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・新型コロナウイルス感染症に伴い夏期休業中の研修を厳選したことにより開催せず	・教職員のファシリテーション能力の育成のための研修開催		
目標値	0人	300人	300人	300人
担当課	教育指導課			

<生涯学習>

基本方針 3 すべてのライフステージで、楽しみながら学び、地域とつながる機会づくり

1 すべての人が楽しく、安心して成長し、活躍できる機会の創出

[現状と課題]

すべての市民が各々のライフステージで楽しみながら学び、生涯学習で学んだことを地域で生かす仕組みづくりや、困難を抱える子ども、若者への支援の充実が引き続き必要となっています。また、社会の多様化が進む中、障がいの有無、年齢、性別、国籍などの多様性を認め合う取組についても継続的に行っていく必要があります。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	幅広い世代への学ぶ機会の提供と地域の人材活用			
事業の概要	「IKOMA サマーセミナー」など、様々な特技や専門知識等を持った市民自身が先生となって、市民への学びや体験の場を提供するとともに、市民が活躍する機会とする。 また、このような場づくりを市民が主体となって継続的に取り組み、さらに発展していけるよう支援することで、生駒の誇る「市民力」をさらに引き出し、市民の持つスキルやアイデアを活かしたまちづくりにつなげる。			
目標名/現状値	IKOMA サマーセミナー実行委員数		11人(令和元年度)	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・市民主体の実行委員会による開催・運営		 ・先生募集対象の拡大	
目標値	12人	12人	15人	18人
担当課	生涯学習課			

事業名	市民同士の交流や地域参画を促す学びの場の展開【新規】			
事業の概要	主に働き盛り世代をターゲットに、市内の地域資源を活用した学びの場を提供することで、地域への関心や愛着心を高めるとともに、地域や社会生活に関わる様々なテーマをもとに学び合う場を通して市民同士の交流や地域参画を促す。			
目標名/現状値	市民の企画運営による講座数		0件(令和2年度)	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			・「オトナの社会見学」の実施 ・市民が主体的に学び合う仕組みの構築に向けた検討 ・学びのポータルサイトの運用	 ・多様な主体による講座の実施 
目標値	—	—	—	3件
担当課	生涯学習課			

事業名	高齢者の学びへの意欲向上と、学びを「行動」につなげる仕組みづくり			
事業の概要	「いこま寿大学」の内容を充実させ、高齢者の学習意欲を引き出すとともに、学びの成果をまちづくりにつなげられる人材を発掘、育成する。 また、「寿生駒連絡協議会」(気らくネット)に代表される同大学の卒業生など有志の市民が地域や学校等と連携しながらまちづくりの担い手として活躍する機会を増やしていけるよう支援を行う。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・社会貢献活動への参加意欲を促す講習会の開設やクラブ学習課程の改善 ・高齢者のニーズや時代の流れを反映するカリキュラムや運営体制等の見直し ・気らくネットによる地域での社会貢献活動の支援			
目標値	—	—	—	—
担当課	生涯学習課			

事業名	困難を抱える子ども・若者に対する支援の充実			
事業の概要	子ども・若者総合相談窓口「ユースネットいこま」を拠点として、様々な困難を抱える子ども・若者が自立した社会生活を送れるよう、「生駒市子ども・若者支援ネットワーク」の有効活用及び関係機関との連携のもと必要な支援を行う。			
目標名/現状値	ユースネットいこまの相談者数		118人(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・ユースネットいこまにおける相談支援 ・「生駒市子ども・若者支援ネットワーク」の運営			
目標値	120人	120人	120人	120人
担当課	生涯学習課			

事業名	多様性を認め合う場の提供			
事業の概要	年齢や性別、障がいの有無や国籍、文化など個々人の違いや多様性を認め合う学びや体験の機会を提供する。			
目標名/現状値	参加者数		58人(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・「ユニバーサルキャンプ in 生駒」の開催			
目標値	60人	60人	60人	60人
担当課	生涯学習課			

【再掲】

事業名	家庭・学校・地域が連携した家庭教育の支援			
事業の概要	子育ての不安解消や地域でのつながりづくりなどを目的に、地域で子育て支援等に関わる市民との協働により立ち上げた生駒市家庭教育支援チーム「たけのこ」を中心に、学校園などとの連携のもと親子や保護者を対象とした交流事業や家庭教育に関する情報発信などに取り組む。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・家庭教育支援チーム「たけのこ」による取組の実施 ・取組の情報発信 ・チームメンバーの研修	 ・学校園への訪問	 ・個別相談の試行	
目標値	—	—	—	—
担当課	生涯学習課			

2 人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる可能性に満ちた図書館づくり

[現状と課題]

図書館を、グループなどとの「協創」の場として、まちづくりの拠点とすることを目指した取組の充実を図るとともに、市民一人ひとりが誰でも本と身近に親しめる取組を進めていく必要があります。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	子ども読書活動の充実【変更】			
事業の概要	子ども読書活動における家庭・地域・学校の新しい連携づくり			
目標名/現状値	生駒子ども読書会議の開催回数		3回(令和2年度)	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・家庭・地域・学校が連携し「トライ！生駒子ども読書会議」を開催		・「家読」推進を図る活動を参加者が各自実施し、会議で意見交換を行う。	
目標値	3回	3回	3回	3回
担当課	図書館			

事業名	「人を通して人を知る」「本を通して人を知る」をキャッチフレーズとするビブリオバトル全国大会の開催			
事業の概要	図書館が本を通じて語り合う場になるとともに、年齢や地域の枠を超えた全国大会を開催する。			
目標名/現状値	ビブリオバトル全国大会の参加者数		304人(うち YouTube230人) (令和2年度)	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・ビブリオバトル全国大会inいこまを開催			
目標値	304人	380人	380人	380人
担当課	図書館			

事業名	市民との連携や「協創」のもと、まちづくりの拠点となる図書館づくり			
事業の概要	市民との連携や「協創」のもと、人と本、人と人をつなぐ事業を行い、新たな文化を創造する「まちづくりのプラットフォーム」となる図書館を目指す。			
目標名/現状値	図書館事業協働ボランティア団体数		10団体(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・市民との「協創」事業の開催、まちかど図書室活動の推進	・市民との「協創」事業の開催 ※移動図書館を導入等による「まちかど図書室事業」の充実	・市民との「協創」事業の開催、まちかど図書室活動の推進	
目標値	10団体	11団体	12団体	13団体
担当課	図書館			

事業名	図書館読書バリアフリー事業【新規】			
事業の概要	障がい、高齢等の理由により、図書館の利用に困難を感じている人が気軽に利用できる図書館を目指し、ボランティアとともに読書推進を行う。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・音訳ボランティア養成講座、音訳サービスの実施 ・宅配サービスの実施	 ・知的障がい者のための代読ボランティア養成講座	 ・知的障がい者のための代読サービスの実施	
目標値	—	—	—	—
担当課	図書館			

3 歴史・伝統文化・芸術を通じた、より豊かなまちの実現

[現状と課題]

市内の豊かな歴史や伝統文化を活用し、市民が郷土愛を育むことができる取組を進めていく必要があります。また、市民が質の高い文化や芸術に触れる機会や、全国に誇る吹奏楽など、文化芸術活動への取組や成果を発表できる機会の充実を図っていく必要があります。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	『生駒市史』編さん事業【変更】			
事業の概要	『生駒市史』編さん事業は、昭和 60 年に最終巻を発刊し終えたが、その後 30 年間にわたって行われた発掘調査や古文書調査等の新たな成果が蓄積されている。加えて、生駒市を取り巻く状況は大きく変化しており、市制 50 周年を記念して新たな「生駒市史」を編さんする意義は大きい。優れた専門性を備えた市内在住研究者や学校関係者、ボランティアの参画により「生駒市史」の編さんを行う。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・編さん事業準備 会開催	・編さん委員会開 催 ・方針決定 ・補充調査 ・記念講演会	・編さん委員会開 催 ・補充調査 ・史料集1発刊 ・記念講演会 ・地域学習イベン ト ・ニューズレター発 行	→ → ・史料集2発刊
目標値	—	—	—	—
担当課	図書館			

事業名	歴史・伝統文化の学びの場の提供と情報発信			
事業の概要	市内に存在する有形・無形文化財の保存・活用、伝統文化に親しむ機会の拡充や継承を進めるほか、生駒ふるさとミュージアム等を拠点とした郷土学習の場の提供や歴史文化の発信を行う。 あわせてデジタルミュージアムによる情報発信を行うことで、市民が容易に生駒の歴史や伝統文化に触れることができる環境を整備する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・市内小学校6年生への「茶道体験教室」の開催 ・ふるさとミュージアムにおける企画展等の開催 ・デジタルミュージアムの運営と周知 ・「鷹山家文書」等古文書活用事業の実施			
目標値	—	—	—	—
担当課	生涯学習課			

事業名	市民との「協創」による「音楽のまち生駒」の発信			
事業の概要	「市民みんなで創る音楽祭」など市民の企画提案によるコンサートの開催を通じて、市民が身近に様々なジャンルの音楽に親しめる機会を提供する。 また、吹奏楽を愛する市民により結成された「生駒市民吹奏楽団」の活動を支援するとともに、市内学校の吹奏楽部・バンド等との連携のもと、合同演奏会などの開催を通じてあらゆる世代の市民に吹奏楽や音楽の楽しさを提供・発信する。			
目標名/現状値	「市民みんなで創る音楽祭」提案団体数		11 団体(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・「市民みんなで創る音楽祭」の開催 ・市民吹奏楽団の運営、事業開催			
目標値	12 団体	12団体	13団体	14団体
担当課	生涯学習課			

4 「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの発展

[現状と課題]

市民誰もが個々のライフスタイル・ライフステージに応じて身近にスポーツを楽しむことができる環境づくりを地域のスポーツ団体等と連携して、引き続き進めていくとともに、地域スポーツの中心的な存在として期待される総合型地域スポーツクラブの発展を支援していくことが求められています。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	第2次スポーツ推進計画策定事業【新規】			
事業の概要	本市スポーツ推進の基本的な方針を示す「生駒市スポーツ推進計画」が、令和5年度で計画期間が終了するため、次期計画となる「(仮称)第2次生駒市スポーツ推進計画」を策定する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			・スポーツに関する市民意識調査等の実施	・第2次スポーツ推進計画策定
目標値	—	—	—	—
担当課	スポーツ振興課			

事業名	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業			
事業の概要	誰もが身近な地域で気軽にスポーツ活動が行えるよう、市内の総合型地域スポーツクラブの発展を支援するとともに、新たなクラブの設立に向け、関係団体への情報提供や人材育成を行う。			
目標名/現状値	市内クラブの会員数		807人	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・各クラブに対する活動支援 ・新規クラブ設立に向けた情報提供や人材育成		 ・新規クラブ設立準備支援	 ・新規クラブ設立
目標値	850人	900人	950人	1,000人
担当課	スポーツ振興課			

事業名	みんなのスポーツ推進事業【変更】			
事業の概要	子どもから高齢者、障がい者などあらゆる市民が、スポーツに親しみ、楽しむ機会の充実を図る。			
目標名/現状値	みんなのスポーツ推進事業の開催		5回/年	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・いこまスポーツの日の開催(1回) ・障がい者対象スポーツ事業の開催(4回) ・障がい児用運動プログラムモデル事業の実施		 ・車いすバスケット体験会の実施 ※企業版ふるさと納税を活用	 ・障がい者対象スポーツ事業の開催(5回) ・障がい児用運動プログラム事業の実施 
目標値	5回	5回	5回	6回
担当課	スポーツ振興課			

事業名	トップアスリート連携事業			
事業の概要	スポーツに憧れや夢を抱けるように、メダリストやトップアスリートを招き、スポーツ教室や講演会を開催し、有名スポーツ選手と触れ合う機会をつくる。			
目標名/現状値	アスリート連携事業の実施		5回/年	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・スポーツ教室や講演会の実施			
目標値	5回	5回	5回	5回
担当課	スポーツ振興課			

第2次生駒市教育大綱 アクションプラン<令和4年度>
生駒市教育委員会 教育こども部 教育総務課
〒630-0288 奈良県生駒市東新町 8 番 38 号
電話:0743-74-1111(代表) FAX:0743-74-9100
<https://www.city.ikoma.lg.jp/>

生駒市スポーツ推進計画に係る実績報告書

【令和3年度実績】

スポーツ等に関する主な事業 担当課別一覧表（令和３年度実績）

担当課名	事業No.	事業名	別表No.	分野1	分野2	分野3
スポーツ振興課	1	市民体育大会	1	1	1	(1)
	2	いこまスポーツの日	59	2	3	(1)
			2	1	1	(1)
			38	2	1	(1)
			60	2	3	(1)
			62	2	3	(2)
	3	ファミリースポーツの集い	88	4	1	(3)
			3	1	1	(1)
			40	2	1	(1)
	4	体育館の無料開放事業	87	4	1	(3)
	5	青少年の体育施設利用促進事業	10	1	1	(2)
	6	市町村子ども駅伝大会及び小学生長距離走記録会	11	1	1	(2)
	7	総合型地域スポーツクラブの設置・活動支援 及び啓発活動事業	12	1	1	(2)
			5	1	1	(1)
			61	2	3	(2)
			91	4	2	(1)
	8	北部スポーツタウン事業	112	5	2	(2)
			4	1	1	(1)
			68	3	1	(1)
	9	スポーツリーダーバンクの設置	92	4	2	(1)
			16	1	1	(6)
	10	県民体育大会選手派遣事業	96	4	3	(1)
	11	スポーツ競技大会派遣事業補助金	32	1	3	(1)
	12	スポーツ指導者養成事業	33	1	3	(1)
	13	生駒ふれあい市民マラソン・ジュニア駅伝大会	34	1	3	(2)
			94	4	2	(3)
	14	各種スポーツ教室の開催	35	1	3	(3)
			37	2	1	(1)
			58	2	3	(1)
			100	5	1	(1)
	15	生駒山スカイウォーク	115	5	3	(1)
	16	インターネットによるスポーツイベント情報等の提供	46	2	1	(2)
	17	スポーツボランティア登録制度	51	2	1	(5)
	18	スポーツクラブ育成事業	97	4	3	(3)
	19	体育施設整備事業	57	2	3	(1)
	20	体育施設管理運営	66	3	1	(1)
	21	インターネットでの施設予約システム	67	3	1	(1)
	22	体育施設利用ガイドの作成・配置	77	3	2	(2)
	23	学校体育施設開放事業	78	3	2	(3)
	24	スポーツ推進委員活動事業	71	3	1	(3)
			80	3	2	(5)
	25	地域別体力づくり補助金事業	84	4	1	(1)
	26	スポーツ少年団活動の支援	89	4	1	(4)
	27	エンジョイススポーツサッカークリニック	107	5	1	(4)
			14	1	1	(2)
	28	トップアスリート連携事業	101	5	1	(1)
			7	1	1	(1)
			102	5	1	(1)
	29	チャリログいこま	116	5	3	(2)
			47	2	1	(2)
	30	体育施設の相互利用	90	4	1	(5)
	31	体育施設指定管理者の自主事業	79	3	2	(4)
			6	1	1	(1)
	32	子ども対象スポーツ教室	63	2	3	(3)
			13	1	1	(2)
	33	各種スポーツイベントにおける青少年参加種目の設定	104	5	1	(1)
			9	1	1	(2)
	34	子育て世代や女性対象スポーツ教室 【総合型地域スポーツクラブ事業】	103	5	1	(1)
			15	1	1	(4)
			86	4	1	(2)
	35	全国大会等の開催支援	106	5	1	(3)
	36	生駒北スポーツセンターグラウンドトラックの設置・活用	36	1	3	(3)
	37	情報コーナーの設置	50	2	1	(4)
	38	総合型地域スポーツクラブの学校施設活用	52	2	1	(6)
			72	3	1	(3)
	39	スポーツ医療講座【体育施設指定管理者自主事業】	93	4	2	(2)
	40	近畿大学との包括協定連携事業	64	2	3	(4)
	41	体育施設用備品の購入	65	2	3	(5)
	42	コミュニケーションスペースの整備	69	3	1	(2)
	43	緊急用備品の配置	73	3	1	(4)
	44	生駒北スポーツセンターへの路線バスの土日延伸	74	3	1	(5)
	45	スポーツイベントにおける巡回バスの運行	75	3	2	(1)
	46	施設利用アンケートの実施	76	3	2	(1)
	47	指定管理者モニタリングの実施	81	3	2	(6)
	48	熱中症予防対策の実施	82	3	2	(6)
	49	市外住民受入対象事業の設置	83	3	2	(7)
	50	学校部活動の地域移行支援事業	85	4	1	(2)
	51	学校・地域連携事業への支援	95	4	2	(4)
	52	学校を通じてのスポーツイベントの周知	108	5	2	(1)
	53	総合型地域スポーツクラブと学校との連携事業	109	5	2	(1)
	54	体育施設指定管理者によるアスリート招聘事業	113	5	2	(3)
	55	障がい者スポーツ活動支援事業	117	5	3	(2)
	56	障がい者スポーツ啓発イベント	29	1	2	(1)
	57	障がい者スポーツ専用のスポーツ用具・設備の設置	30	1	2	(3)
地域包括ケア推進課	58	機能訓練事業（わくわく教室）	31	1	2	(4)
	59	高齢者体操教室（のびのび教室）	70	3	1	(2)
	60	介護予防出前講座	17	1	1	(6)
			18	1	1	(6)
	61	介護予防教室	19	1	1	(6)
			55	2	2	(2)
	62	コグニサイズ	20	1	1	(6)
健康課	63	エイジレスエクササイズ教室	56	2	2	(2)
	64	はじめてのウォーキング講座	21	1	1	(6)
			22	1	1	(6)
	65	いこマイウォーキング倶楽部	42	2	1	(1)
	66	生駒健康ウォーキングマップを歩こう会	54	2	2	(1)
	67	生駒健康ウォーキングマップを歩こう会（現地指導と名所ガイド）	43	2	1	(1)
	68	減らＳＯ（そ〜）倶楽部〜生活習慣病予防基礎編〜	44	2	1	(1)
障がい福祉課	69	奈良県障がい者スポーツ大会	98	4	3	(3)
教育総務課・こども課	70	スクールボランティア事業	53	2	2	(1)
教育指導課	71	いこまっ子キャンプ（旧自然体験学習推進補助金）	31	1	2	(3)
	72	部活動支援事業	110	5	2	(1)
生涯学習課	73	自主学習グループの活動支援	48	2	1	(2)
	74	いこま大学ハイキングクラブ	72	5	2	(3)
	75	いこま大学レクリエーション体操クラブ	8	1	1	(1)
	76	いこま大学スポーツ大会	23	1	1	(6)
	77	いこま大学健康ストレッチ体操講座	24	1	1	(6)
	78	簡単な運動で健康になろう！講座	25	1	1	(6)
	79	健康ヨガ体験	26	1	1	(6)
	80	バランスボール体験講座	27	1	1	(6)
	81	ユニバーサルキャンプin生駒	28	1	1	(6)
	82	ちびっこスポーツフェスタ	29	1	1	(6)
	83	生涯学習まちづくり人材バンク登録制度	45	2	1	(1)
	84	いこまっこチャレンジ教室	49	2	1	(3)
	85	PTA協議会の活動支援	99	4	3	(3)
			105	5	1	(1)
			111	5	2	(1)

参考（令和３年度実績）	
報告事業数	85事業
内単独（1体系）	64事業
内重複（2体系）	14事業
内重複（3体系）	4事業
内重複（4体系）	2事業
内重複（5体系）	1事業
体系別総事業数	117事業

令和３年度新規事業

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
1	1	-(1)	-①	市民体育大会 ※2-(3)-①と重複	S47～	広く市民の間に体育・スポーツを普及し、市民の健康を増進するとともに生活を明るく豊かなものにしようとするものである。また市民の体力づくり・健康づくりの中核としてスポーツへの関心を一層高め、市民が広く参加する機会とする各種スポーツ競技大会。	一部中止	3年ぶりに総合開会式も含めて実施	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んだこともあり感染者数が落ち着いてきたことから	全市民	継	スポーツ振興課
2	1	-(1)	-①	いこまスポーツの日 ※2-(1)-① 2-(3)-① 2-(3)-② 4-(1)-③と重複	R2～	市民総参加型スポーツイベントとして、スポーツ推進委員やスポーツ施設指定管理者、総合型地域スポーツクラブなどと協働・連携して実施。より多くの市民が気軽に参加でき、スポーツをはじめるきっかけや、スポーツに親しんでもらえる1日とするため、リレマラソンやeスポーツ大会など、新たなプログラムに取り組む。	eスポーツ:57人 バルサアカデミー体験会:63人 リレマラソン:84人 軽スポーツ:352人 同日にトップアスリート連携事業として、「ねわざ祭@いこま」を開催66人の参加	継続して実施予定 (「ねわざ祭@いこま」は実施しない)	-	全市民	継	スポーツ振興課
3	1	-(1)	-①	ファミリースポーツの集い ※2-(1)-① 4-(1)-③と重複	H2～	スポーツによる親睦を図るため、軽スポーツを中心としたレクリエーション活動の場を提供する。	参加チーム数 ソフトバレーボール(3チーム) ドッジボール(4チーム) 軽スポーツ紹介コーナー:62人	参加チーム数 ソフトバレーボール(20チーム) ドッジボール(15チーム) 軽スポーツ紹介コーナー:150人	-	全市民	継	スポーツ振興課
4	1	-(1)	-①	北部スポーツタウン事業 ※3-(1)-① 4-(2)-①と重複	H25～	生駒市北部スポーツタウン構想の実現に向け、生駒北スポーツセンター等を活用し、総合型地域スポーツクラブの推進を図るとともに、誰もが集えるスポーツ施設を目指し、市民のスポーツ活動の活性化を図る。	指定管理者による管理運営 42,706,000円	指定管理者による管理運営 42,706,000円	-	全市民	継	スポーツ振興課
5	1	-(1)	-①	総合型地域スポーツクラブの設置・活動支援及び啓発活動事業 ※2-(3)-② 4-(2)-① 5-(2)-②と重複	H22～	総合型地域スポーツクラブの設立を支援し、また、広く市民に周知するため、市内スポーツ関係団体へ啓発を行うとともに、奈良県スポーツ支援センターと連携を図り、総合型地域スポーツクラブ設立についての啓発活動を行う。	・情報の提供 ・市内地域クラブ連携による事業の開催 (「トップアスリート連携事業」) ・市内地域クラブ連携会議の開催	・情報の提供 ・市内地域クラブ連携による事業の開催 (「チャリロゲイこま、トップアスリート連携事業」) ・市内地域クラブ連携会議の開催	-	全市民	継	スポーツ振興課
6	1	-(1)	-①	体育施設指定管理者の自主事業 ※2-(3)-③と重複	H22～	指定管理者募集要綱に基づき、体育施設の魅力の発掘と創造を推進し、市民サービスの向上につながる提案事業を実施する。	◎TAC(東京アスレチッククラブ) ・屋内温水プールTACきらめきの水泳教室 ・テニススクール ほか ◎生駒市体育協会 ・総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」事業 ほか	各指定管理者の事業計画に基づいて実施	-	全市民	継	スポーツ振興課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
7	1	-(1)	-①	トップアスリート連携事業 ※5-(1)-① 5-(3)-②と重複	H25～	市内体育施設等を活用したトップアスリートと触れ合えるスポーツイベントの開催。	【松田丈志氏講演会】 296人 【東京2020コミュニティサイト】 中止 【東京2020オリンピック聖火リレー】 209人 【トレイルランニング教室】 中止 【Vリーグによるバレー教室】 16人 【オリンピックによるアーチェリー体験会】 40人 【浅香山部屋ちびっこ相撲体験会】 中止 【ねわざ登@いこま】 66人	【トレイルランニングイベント】 30人 【チャリロゲいこま】 100人 【指定管理者と共催企画】 未定 【浅香山部屋ちびっこ相撲体験会】 未定	-	全市民	継	スポーツ振興課
8	1	-(1)	-①	自主学習グループの活動支援	H25～	舞踊、ダンス、気功・ヨガ・太極拳等、様々な分野の活動に取り組んでいるグループへの支援をする。	登録グループ数(3月末現在) 90グループ 自主学習グループフェスタの開催 広報紙掲載の公開講座の開催と補助金交付 公開講座 105回 補助金交付 75回	継続して実施	-	全市民	継	生涯学習課
9	1	-(1)	-②	各種スポーツイベントにおける青少年参加種目の設定	H14～	体育施設使用料(利用料)に青少年料金を設け、市内に在住・在学している幼児・児童・生徒の利用促進を図る。	体育館(会議室・多目的室含む)・武道館 4,223件 91,007人 テニスコート 2,683件 28,312人 グラウンド・野球場 2,332件 182,238人 相撲場 6件 188人	継続して実施	-	市内に在住、在学している中学生以下の児童及び生徒	継	スポーツ振興課
10	1	-(1)	-②	体育館の無料開放事業	H14～	青少年の健全育成を図り、市内の児童・生徒の遊び場を提供するため、原則毎月第1・第3土曜日に1カ所の体育館を無料開放する。	回数 10回 延べ参加者 745人 ※令和3年5～9月、3月は新型コロナ対策のため中止した日程がある。	回数 20回	-	市内の児童とその保護者	継	スポーツ振興課
11	1	-(1)	-②	青少年の体育施設利用促進事業	H14～	体育施設使用料(利用料)に青少年料金を設け、市内に在住・在学している幼児・児童・生徒の利用促進を図る。	体育館(会議室・多目的室含む)・武道館 4,223件 91,007人 テニスコート 2,683件 28,312人 グラウンド・野球場 2,332件 182,238人 相撲場 6件 188人	継続して実施	-	市内に在住、在学している中学生以下の児童及び生徒	継	スポーツ振興課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
12	1	-(1)	-(2)	市町村子ども駅伝大会 及び小学生長距離走記録会(奈良県市町村対抗子ども駅伝)	H17～	子ども達の体力低下が懸念されている中、子ども達の現在の体力を把握するとともに、スポーツにふれあうきっかけになるよう、小学1年生～6年生を対象に陸上長距離走記録会兼奈良県主催の市町村対抗子ども駅伝大会生駒市代表選手予選会を開催する。	市町村子ども駅伝大会 中止 生駒マラソンチャンピオンシップ (長距離走) 参加人数 合 計 300名	市町村子ども駅伝大会 参加人数 12人 生駒マラソンチャンピオンシップ (長距離走) 予想参加人数 5・6年生 100名 3・4年生 100名 1・2年生 100名 合 計 300名	-	市内在住・在学の小学生	継	スポーツ振興課
13	1	-(1)	-(2)	子ども対象スポーツ教室 【総合型地域スポーツクラブ事業】 ※5-(1)-①と重複	H22～	各クラブにおいて子ども対象スポーツ教室を設置。	いこ増ッスルクラブ ・キッズテニス教室 ・ちびっ子スポーツバイキング ほか リトルバイン総合型地域スポーツクラブ ・キッズスポーツ教室 ほか プロストリート関西 ・サッカー、フットサル教室 ほか	各クラブの事業計画に基づいて実施	-	市内に在住・在学している小中学生等	継	スポーツ振興課
14	1	-(1)	-(2)	エンジョイススポーツ サッカークリニック ※5-(1)-①と重複	H25～	学校の教育力を地域に還元する取組の一つであり、多くの子どもたちに、サッカーや球技をとおしてスポーツの楽しさや人とふれあうことの大切さを知ってもらうため、県立奈良北高校サッカー部等と連携して開催。	未実施	未定	-	市内に在住、在学している小学生	継	スポーツ振興課
15	1	-(1)	-(4)	子育て世代や女性対象 スポーツ教室 【総合型地域スポーツクラブ事業】 ※4-(1)-② 5-(1)-③と重複	H22～	各クラブにおいて子育て世代や女性対象スポーツ教室を設置。	いこ増ッスルクラブ ・ちびっこスポーツバイキングほか リトルバイン総合型地域スポーツクラブ ・親子スポーツ教室 ほか	各クラブの事業計画に基づいて実施	-	全市民	継	スポーツ振興課
16	1	-(1)	-(6)	スポーツリーダーバンクの設置 ※4-(3)-①と重複	H24～	スポーツに関する専門的な知識や経験、技能等を有しているリーダーを発掘し、その情報を提供することにより、市民のスポーツ活動の普及・振興を図り、豊かな地域社会に寄与するため設置する。	登録者数 41人 実技指導者 41人 講演・講議者9人(講演・講議者の9名は実技指導と両方登録)	新規登録予想 5人	-	全市民	継	スポーツ振興課
17	1	-(1)	-(6)	機能訓練事業(わくわく教室)	H11～	概ね65歳以上の高齢者を対象に、閉じこもりがちな高齢者が気軽に参加できる教室で、健康体操やゲーム、簡単調理のほか季節の行事も盛り込んだ多様なメニューを取り入れ実施。ボランティアが中心となって教室の運営を行っている。	開催回数: 66回 参加者人数: 742人	開催回数: 97回 参加者人数: 1,747人	新型コロナウイルス感染拡大に伴う開催中止や、感染対策に伴う一教室の最大参加人数の減による	概ね65歳以上の高齢者	継	地域包括ケア推進課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
18	1	-(1)	-⑥	高齢者体操教室（のびのび教室）	H18～	概ね65歳以上の高齢者を対象に、より活動的で元気に暮らしていただくため、健康運動指導士等により、家庭でできる簡単な体操等を行っています。公的施設を利用した公民館型と地域の集会所等で地域の方が主体となって開催する地域型の教室。	○公民館型 開催回数：170回 参加者人数：1,682人 ○地域型 開催回数：248回 参加者人数：2,895人	○公民館型 開催回数：192回 参加者人数：500人 ○地域型 開催回数：324回 参加者人数：5,184人	新型コロナウイルス感染拡大に伴う開催中止や、感染対策に伴う一教室の最大参加人数の減による	概ね65歳以上の高齢者	継	地域包括ケア推進課
19	1	-(1)	-⑥	介護予防出前講座 ※2-(2)-②と重複	H18～	地域で活動する概ね65歳以上の方で構成されるグループが、介護予防につながる研修会等を実施する際に、運動指導員、管理栄養士、歯科衛生士、音楽療法士、保健師等の専門職を派遣し、基本的な知識の普及啓発を実施。	開催回数：14回 参加者人数：276人	開催回数：35回 参加者人数：1,050人	新型コロナウイルス感染拡大に伴う開催中止や、感染対策に伴う一教室の最大参加人数の減による	地域で活動する概ね65歳以上の方で構成されるグループ	継	地域包括ケア推進課
20	1	-(1)	-⑥	介護予防教室 ※2-(2)-②と重複	H18～	高齢者及びその家族を対象に、介護予防に関する基本的な知識を普及啓発するために、地域包括支援センターによる介護予防教室を実施。	実施回数：65回 参加者人数：841人	開催回数：80回 参加者人数：900人	新型コロナウイルス感染拡大に伴う開催中止や、感染対策に伴う一教室の最大参加人数の減による	高齢者及びその家族	継	地域包括ケア推進課
21	1	-(1)	-⑥	コグニサイズ教室	H27～	体を動かすことと、頭を使うことを同時に行って、脳の活動を活発にする認知症予防の教室です。ステップをしながら計算、歩きながらしりとりをするなど、楽しみながら認知症予防に取り組む教室。	実施回数：35回 参加者人数：321人	実施回数：43回 参加者人数：537人	新型コロナウイルス感染拡大に伴う開催中止や、感染対策に伴う一教室の最大参加人数の減による	概ね65歳以上の高齢者	継	地域包括ケア推進課
22	1	-(1)	-⑥	エイジレスエクササイズ教室	H28～	有酸素運動と筋力トレーニングを組み合わせたアンチエイジング運動教室。音楽に合わせた運動やマット運動などを行うことで、体力の維持・向上を図る。	実施回数：36回 参加者人数：248人	実施回数：43回 参加者人数：688人	新型コロナウイルス感染拡大に伴う開催中止や、感染対策に伴う一教室の最大参加人数の減による	65歳～75歳未満の高齢者	継	地域包括ケア推進課
23	1	-(1)	-⑥	いこま寿大学ハイキングクラブ	S55～	いこま寿大学の趣味充実課程（クラブ学習）として開講。実施形態、距離により5コースに分ける。	1年生 23名 2年生 39名 3年生 28名 4年生 48名 年間5～7回実施 ※在学生数（休学者のぞく）	継続して実施 年間7回実施	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、一部のクラブ学習が中止となったため。	いこま寿大学学生	継	生涯学習課
24	1	-(1)	-⑥	いこま寿大学レクリエーション体操クラブ	H9～	いこま寿大学の趣味充実課程（クラブ学習）として開講。	1年生 1名 2年生 1名 3年生 7名 4年生 11名 年間5回実施 ※在学生数（休学者のぞく）	継続して実施 年間7回実施	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、一部のクラブ学習が中止となったため。	いこま寿大学学生	継	生涯学習課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
25	1	-(1)	-⑥	いこま大学スポーツ大会	H17～	いこま大学祭の一環として軽スポーツ(カラーリング、囲碁ボール、ベタンク)を実施。	中止	年間1回開催予定	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	いこま大学学生	継	生涯学習課
26	1	-(1)	-⑥	いこま大学健康ストレッチ体操講座	H24～	いこま大学の実務講習課程として開講。	4回実施 参加人数 計37名	年間4回実施予定	-	いこま大学学生	継	生涯学習課
27	1	-(1)	-⑥	簡単な運動で健康になろう!講座	H29～	いこま大学の実務講習課程として開講。	2回実施 参加人数 計25名	年間2回実施予定	-	いこま大学学生	継	生涯学習課
28	1	-(1)	-⑥	健康ヨガ体験	H29～	いこま大学の実務講習課程として開講。	2回実施 参加人数 計14名	年間2回実施予定	-	いこま大学学生	継	生涯学習課
29	1	-(1)	-⑥	バランスボール体験講座	R4～	いこま大学の実務講習課程として開講。	-	年間2回実施予定	令和4年度の新規講習。	いこま大学学生	新	生涯学習課
30	1	-(2)	-①	障がい者スポーツ活動支援事業	H28～	スポーツ機会の少ない、障がい児・障がい者のスポーツ機会をつくるため各種事業を開催する。	体育館・屋内温水プール等の体育施設の無料開放 屋内温水プールの無料開放 1回 体育施設開放 2回	体育館・屋内温水プール等の体育施設の無料開放 屋内温水プールの無料開放 体育施設開放	-	市内に在住・在勤・在学している障がい者	継	スポーツ振興課
31	1	-(2)	-③	奈良県障害者スポーツ大会	H13～	障害者スポーツを広く振興するとともに、県民の障害者スポーツに対する理解を深め、障害者の社会参加の促進と、障害者福祉の増進に寄与することを目的として開催。奈良県と奈良県障害者スポーツ大会が主催し、市福祉事務所も参加申込手続		大会参加者数(学校通学者又は施設入所者を除く) 5名		満13歳以上の障がい者(一定の要件あり)	新	障がい福祉課
32	1	-(2)	-③	障がい者スポーツ啓発イベント	H28～	障がい者スポーツを広く普及するとともに、障がい者の競技スポーツ活動を支援する。	未実施	未定	-	全市民	継	スポーツ振興課
33	1	-(2)	-④	障がい者専用のスポーツ用具・設備の設置 ※3-(1)-②と重複	H28～	障がい児・障がい者用のスポーツ用具・設備を体育施設に設置する。	車イス対応型卓球台の設置	車イス対応型卓球台 ほか	-	市内に在住・在勤・在学している障がい者	継	スポーツ振興課
34	1	-(3)	-①	県民体育大会選手派遣事業		奈良県・奈良県体育協会が主催する県民体育大会に市代表選手を派遣する。	中止	【役員】4名 【選手】15競技 223名	-	県民体育大会出場者	継	スポーツ振興課
35	1	-(3)	-①	スポーツ競技大会派遣事業補助金	H9～	技術力の高いスポーツ競技選手と技を競うスポーツ競技大会(全国・国際大会等)に参加することで、本市代表選手の技術力の向上を図るとともにスポーツを通じた親睦とその選手の功績によるスポーツ振興を図ることを目的とし、全国大会や国際的大会等へ参加するための必要な経費の一部を補助する。	全国大会等派遣 17件(103人)	全国大会等派遣 20件 110人 見込み	-	市内在住者	継	スポーツ振興課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
36	1	-(3)	-(2)	スポーツ指導者養成事業 ※4-(2)-(3)と重複	H 3 ~	市民の多様化するスポーツ活動に対応するため、スポーツリーダーの登録制度を設け、必要とされるスポーツ指導者の養成事業の経費の一部を補助し、地域におけるスポーツ活動の活性化及び振興を図る。	実績なし	継続して登録者を募集する。	-	全市民	継	スポーツ振興課
37	1	-(3)	-(3)	生駒ふれあい市民マラソン・ジュニア駅伝大会	S 6 3 ~	マラソンの普及と走る楽しさを知ってもらい、子ども達への運動の機会づくり、参加者同士のコミュニケーションの場の提供、健康な身体づくりに役立てることを目的に開催する。	中止	予想参加者数 400人	-	限定なし	継	スポーツ振興課
38	1	-(3)	-(3)	全国大会等の開催支援		市内で開催される各種競技の全国大会等に対して、会場の調整、後援等の支援を行う。	該当なし	未定	-	大会出場者	継	スポーツ振興課
39	2	-(1)	-(1)	各種スポーツ教室の開催 ※2-(3)-① 5-(1)-① 5-(3)-①と重複		初心者を対象として、各スポーツの基本技術の習得及び体力の向上を図るとともに、生涯スポーツ人口の拡大を図るため、各種スポーツ教室を開催する。	18教室 2,065人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止	21教室 5,000人見込み	-	全市民(各教室によって年齢制限あり)	継	スポーツ振興課
40	2	-(1)	-(1)	ファミリースポーツの集い ※1-(1)-① 4-(1)-③と重複	H 2 ~	スポーツによる親睦を図るため、軽スポーツを中心としたレクリエーション活動の場を提供する。	参加チーム数 ソフトバレーボール(3チーム) ドッジボール(4チーム) 軽スポーツ紹介コーナー(62人)	継続して実施予定	-	全市民	継	スポーツ振興課
41	2	-(1)	-(1)	いこまスポーツの日 ※1-(1)-① 2-(3)-① 2-(3)-② 4-(1)-③と重複	R 2 ~	市民総参加型スポーツイベントとして、スポーツ推進委員やスポーツ施設指定管理者、総合型地域スポーツクラブなどと協働・連携して実施。より多くの市民が気軽に参加でき、スポーツをはじめるきっかけや、スポーツに親しんでもらえる1日とするため、リレーマラソンやeスポーツ大会など、新たなプログラムに取	eスポーツ:57人 バルサアカデミー体験会:63人 リレーマラソン:84人 軽スポーツ:352人 同日にトップアスリート連携事業として、「ねわざ祭@いこま」を開催 66人の参加	継続して実施予定 (「ねわざ祭@いこま」は実施しない)	-	全市民	継	スポーツ振興課
42	2	-(1)	-(1)	はじめてのウォーキング講座 ※2-(2)-①と重複	H 1 9 ~	運動習慣作りの第1歩として、ウォーキングや運動に関する基礎を学び、参加者の健康の維持・向上をはかる講座。	3回実施 参加人数45人	R4年度より事業名を「健康ウォーキング」に変更。 開催数:4回 参加人数(予定): 各15人×4回=60人	令和3年度はコロナウイルスの影響で中止があったため。	全市民	継	健康課
43	2	-(1)	-(1)	いこマイウォーキング倶楽部	H 2 7 ~	運動習慣づけを行うために、歩数の記録票を希望者に配布し、目標歩数達成者には記念品を進呈する。また、ウォーキングに関する無料相談を実施する。	年間通じて記録票(1900枚)を健康課、各市内生涯学習施設に設置または市ホームページに掲載。 R3年度は、1900枚の記録表すべて配布。	年間通じて記録票を健康課、各市内生涯学習施設に設置または市ホームページに掲載		20歳以上の市民	継	健康課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
44	2	-(1)	-①	生駒健康ウォーキング マップ歩こう会	H30～	日常生活の中で楽しみながら日々の健康づくりにつなげることができるように、ウォーキングマップを活用した歩こう会を実施する。	4回実施 延べ123名参加	歩こう会 年3回(予定)※コロナ対策のため、各10人定員で、2グループに分けて実施 予定。地域型歩こう会を実施予定(上記の3回のうちの1回を地域型とする)	天候による開催への影響。コロナ禍における実施方法の変更	全市民	継	健康課
45	2	-(1)	-①	ユニバーサルキャンプ in生駒	H27～	年齢・性別・障がいの有無、国籍や文化の違いに関わらず、ダイバーシティ(多様性)の視点にたち、「みんなが一緒にいきいきと暮らせる社会とまちづくり」の実現を目指すことを目的として実施。	中止	事業内容検討予定	今後開催する場合は、プロポーザル方式で業者を決定する予定	全市民 (市内優先であるが市外参加も可)	継	生涯学習課
46	2	-(1)	-②	生駒山スカイウォーク	H14～	普段歩くことのできない信貴生駒スカイラインを特別に開放し、生駒山周辺の自然や歴史に親しむウォーキングイベント。	中止	6月4日(土)に開催済み 参加者: 約400人	-	限定なし	継	スポーツ振興課
47	2	-(1)	-②	チャリロゲイこま ※4-(1)-⑤と重複	H26～	生駒市の自然豊かな環境や、高低差のある地理を活用し、地図をもとに制限時間内にチェックポイントを回り、得点を集める「フォトロゲイニング」を自転車でおこなうサイクリングイベント。	中止	参加者100人見込み	-	限定なし	継	スポーツ振興課
48	2	-(1)	-②	いこまっ子キャンプ (旧自然体験学習推進補助金)	H21～	児童の自然体験を通して生きる力を育み、集団生活による基本的生活習慣の育成を図るため、生駒山麓公園ふれあいセンターや野外活動センターを利用して、体験学習や防災教育を行う学校に対し、宿泊費等の施設利用料や交通費等を補助するもの。平成29年度、名称を変更。	決算額 1,733,865円 市内11小学校と適応指導教室で実施 1095名が参加	予算額 1,611,000円 市内11小学校と適応指導教室で実施 1153名が参加	参加児童生徒数の変動	市内小・中学校児童生徒	継	教育指導課
49	2	-(1)	-③	ちびっこスポーツフェスタ	H25～	市内各地の子どもたちが、スポーツを通じて学校・学年の枠を超えた交流を行うと共に、体を動かすことで新しい時代を生み出す活力を養うことを目的に実施する。 (実施団体: 生駒市子ども会育成連絡協議会)	中止	中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	市内在住の小 学生と保護者	継	生涯学習課
50	2	-(1)	-④	生駒北スポーツセンター グラウンドトラックの設置・活用	H25～	ランニング専用トラックとして市民の利用を促進するとともに、市のスポーツイベント等に活用する。	個人使用 218件	個人使用 未定	-	全市民	継	スポーツ振興課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
51	2	-(1)	-⑤	インターネットによるスポーツイベント情報等の提供		市ホームページやツイッターなどを活用し、スポーツイベントやその他のスポーツ関連情報を紹介するなど、より広く情報提供できる環境を整える。	ツイッターやfacebook等を利用した情報の提供	ツイッターやfacebook等を利用した情報の提供	-	全市民	継	スポーツ振興課
52	2	-(1)	-⑥	情報コーナーの設置		窓口カウンター及びマガジンラック等に各種スポーツ情報のチラシ、パンフレット等を配置する。	各体育施設の窓口付近にスポーツリーダーバンク及び各種スポーツ情報のファイルを設置	継続して実施	-	全市民	継	スポーツ振興課
53	2	-(2)	-①	減らSO(そー)倶楽部～生活習慣病予防基本編～	H28～	生活習慣病予防のための基礎知識を深め、予防及び症状悪化防止に向けた生活習慣(運動、食事、休息)が実践できるよう支援する。	参加人数 延べ16人	検討中	検討中	全市民	継	健康課
54	2	-(2)	-①	はじめてのウォーキング講座 ※2-(1)-①と重複	H19～	運動習慣作りの第1歩として、ウォーキングや運動に関する基礎を学び、参加者の健康の維持・向上をはかる講座。	3回実施 参加人数45人	R4年度より事業名を「健康ウォーキング」に変更。 開催数:4回 参加人数(予定): 各15人×4回=60人	令和3年度はコロナウイルスの影響で中止があったため。	全市民	継	健康課
55	2	-(2)	-②	介護予防出前講座 ※1-(1)-⑥と重複	H18～	地域で活動する概ね65歳以上の方で構成されるグループが、介護予防につながる研修会等を実施する際に、運動指導員、管理栄養士、歯科衛生士、音楽療法士、保健師等の専門職を派遣し、基本的な知識の普及啓発を実施。	開催回数:14回 参加者人数:276人	開催回数:35回 参加者人数:1,050人	新型コロナ感染拡大に伴う開催中止や、感染対策に伴う一教室の最大参加人数の減による	地域で活動する概ね65歳以上の方で構成されるグループ	継	地域包括ケア推進課
56	2	-(2)	-②	介護予防教室 ※1-(1)-⑥と重複	H18～	高齢者及びその家族を対象に、介護予防に関する基本的な知識を普及啓発するために、地域包括支援センターによる介護予防教室を実施。	実施回数:65回 参加者人数:841人	開催回数:80回 参加者人数:900人	新型コロナ感染拡大に伴う開催中止や、感染対策に伴う一教室の最大参加人数の減による	高齢者及びその家族	継	地域包括ケア推進課
57	2	-(3)	-①	スポーツクラブ育成事業	H3～	一般財団法人生駒市体育協会に加盟する競技団体に対し、スポーツ活動の強化及び活性化を図るための事業に必要な経費の一部を補助し、本市のスポーツの普及及び振興を図る。	29競技団体	30競技団体	新型コロナウイルス感染拡大による開催自粛により、減少が見込まれる	生駒市体育協会加盟競技団体	継	スポーツ振興課
58	2	-(3)	-①	各種スポーツ教室の開催 ※2-(1)-① 5-(1)-① 5-(3)-①と重複		初心者を対象として、各スポーツの基本技術の習得及び体力の向上を図るとともに、生涯スポーツ人口の拡大を図るため、各種スポーツ教室を開催する。	18教室 2,065人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止	21教室 5,000人見込み	新型コロナウイルス感染拡大による開催自粛により、減少が見込まれる	全市民(各教室によって年齢制限あり)	継	スポーツ振興課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
59	2	-(3)	-①	市民体育大会 ※1-(1)-①と重複	S47～	広く市民の間に体育・スポーツを普及し、市民の健康を増進するとともに生活を明るく豊かなものになろうとするものである。また市民の体力づくり・健康づくりの中核として体育への関心を一層高め、市民が広くスポーツに参加する機会とする各種スポーツ競技大会。	中止	中止	新型コロナウイルス感染拡大による開催自粛	全市民	継	スポーツ振興課
60	2	-(3)	-①	いこまスポーツの日 ※1-(1)-① 2-(1)-① 2-(3)-② 4-(1)-③と重複	R2～	市民総参加型スポーツイベントとして、スポーツ推進委員やスポーツ施設指定管理者、総合型地域スポーツクラブなどと協働・連携して実施。より多くの市民が気軽に参加でき、スポーツをはじめのきっかけや、スポーツに親しんでもらえる1日とするため、リレーマラソンやeスポーツ大会など、新たなプログラムに取り組む。	eスポーツ:57人 バルサアカデミー体験会:63人 リレーマラソン:84人 軽スポーツ:352人 同日にトップアスリート連携事業として、「ねわざ祭@いこま」を開催66人の参加	継続して実施予定 (「ねわざ祭@いこま」は実施しない)	-	全市民	継	スポーツ振興課
61	2	-(3)	-②	総合型地域スポーツクラブの設置・活動支援及び啓発活動事業 ※1-(1)-① 4-(2)-① 5-(2)-②と重複	H22～	総合型地域スポーツクラブの設立を支援し、また、広く市民に周知するため、市内スポーツ関係団体へ啓発を行うとともに、奈良県スポーツ支援センターと連携を図り、総合型地域スポーツクラブ設立についての啓発活動を行う。	・情報の提供 ・市内地域クラブ連携による事業の開催 (トップアスリート連携事業) ・市内地域クラブ連携会議の開催	・情報の提供 ・市内地域クラブ連携による事業の開催 (チャリロゲいこま、トップアスリート連携事業) ・市内地域クラブ連携会議の開催	-	全市民	継	スポーツ振興課
62	2	-(3)	-②	いこまスポーツの日 ※1-(1)-① 2-(1)-① 2-(3)-① 4-(1)-③と重複	R2～	市民総参加型スポーツイベントとして、スポーツ推進委員やスポーツ施設指定管理者、総合型地域スポーツクラブなどと協働・連携して実施。より多くの市民が気軽に参加でき、スポーツをはじめのきっかけや、スポーツに親しんでもらえる1日とするため、リレーマラソンやeスポーツ大会など、新たなプログラムに取り組む。	eスポーツ:57人 バルサアカデミー体験会:63人 リレーマラソン:84人 軽スポーツ:352人 同日にトップアスリート連携事業として、「ねわざ祭@いこま」を開催66人の参加	継続して実施予定 (「ねわざ祭@いこま」は実施しない)	-	全市民	継	スポーツ振興課
63	2	-(3)	-③	体育施設指定管理者の自主事業 ※1-(1)-①と重複	H22～	指定管理者募集要綱に基づき、体育施設の魅力の発掘と創造を推進し、市民サービスの向上につながる提案事業を実施する。	◎TAC(東京アスレチッククラブ) ・屋内温水プールTACきらめきの水泳教室 ・テニススクール ほか ◎生駒市体育協会 ・総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」事業 ほか	各指定管理者の事業計画に基づいて実施	-	全市民	継	スポーツ振興課
64	2	-(3)	-④	スポーツ医療講座 【体育施設指定管理者自主事業】	H28～	スポーツ障害予防について、より多角的な分析から、選手に関わるすべての人が協力し選手の健全な成長を目指す。	未実施	未定	-	全市民	継	スポーツ振興課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
65	2	-(3)	-(5)	近畿大学との包括連携協定事業	R 3	近畿大学と生駒市の包括連携協定の一環として、アーチェリー体験会を実施。	2日間×小学生20人 合計40人参加	未定	-	市内小学生	新	スポーツ振興課
66	3	-(1)	-(1)	体育施設整備事業		市内体育施設は1990年以前に建設されたものが多く、未だバリアフリー化されていない部分もあるため、今後は各施設を調査し検討した上で、高齢者・障がい者なども集うことができる、コミュニティ施設とするとともに、施設の老朽化により機能が低下している設備もあるため、利用者が安全に安心して使用する事ができる施設の整備を行う。	イモ山公園体育施設（プール管理棟耐震診断委託） 1,397,000円 滝寺公園体育施設（バスケットゴール及び非構造部材改修工事ほか） 35,533,696円 山麓公園テニスコート（人工芝張替工事） 2,955,700円	総合公園体育施設（照明LED化、バスケットゴール及び非構造部材改修工事） 70,819,100円 イモ山公園体育施設（プールのトイレ改修工事ほか） 6,425,787円 滝寺公園体育施設（武道館トイレ改修工事） 5,610,000円	-	体育施設利用者	継	スポーツ振興課
67	3	-(1)	-(1)	体育施設の管理運営		体育施設の管理・運営の効率化と充実を図るため、指定管理者に管理運営を委託するとともに、利用者が安心・安全に施設を使用できるよう管理を行う。	指定管理料（市スポーツ協会、モンベル・あおはに共同体） 植栽管理委託 グラウンド整備委託 体育施設用備品 等 192,614,229円	指定管理料（市スポーツ協会、モンベル・あおはに共同体） 植栽管理委託 グラウンド整備委託 体育施設用備品 等 187,215,000円	-	体育施設利用者	継	スポーツ振興課
68	3	-(1)	-(1)	北部スポーツタウン事業 ※1-(1)-① 4-(2)-①と重複	H 2 5 ～	生駒市北部スポーツタウン構想の実現に向け、生駒北スポーツセンター等を活用し、総合型地域スポーツクラブの推進を図るとともに、誰もが集えるスポーツ施設を目指し、市民のスポーツ活動の活性化を図る。	指定管理者による管理運営 42,706,000円	指定管理者による管理運営 42,706,000円	-	全市民	継	スポーツ振興課
69	3	-(1)	-(2)	体育施設用備品の購入		体育施設の充実と適正な管理のため、施設用備品を購入する。	グラウンドならし、卓球台、サッカーゴールネット、障がい者用スポーツ用具、聖火リレー Torch 等 3,388,760円	グラウンドならし、卓球台、テニスコートネット、防球ネット、水着脱水機、スプリンクラー、障がい者用スポーツ用具等 3,513,000円	-	体育施設利用者	継	スポーツ振興課
70	3	-(1)	-(2)	障がい者専用のスポーツ用具・設備の設置 ※1-(2)-④と重複	H 2 8 ～	障がい児・障がい者用のスポーツ用具・設備を体育施設に設置する。	車イス対応型卓球台の設置	車イス対応型卓球台 ほか	-	市内に在住・在勤・在学している障がい者	継	スポーツ振興課
71	3	-(1)	-(3)	学校体育施設開放事業 ※3-(2)-⑤と重複	S 5 5 ～	子どもを含め地域の社会体育の普及を図り、学校体育施設を学校休業日に地域団体等へ開放する。	小学校 12校 1,608回 中学校 8校 68回	継続して実施	-	全市民	継	スポーツ振興課
72	3	-(1)	-(3)	総合型地域スポーツクラブの学校施設活用 ※4-(2)-②と重複	H 2 5 ～	各クラブの事業運営に際し、学校施設を活用し、地域に開かれた活動を展開する。	リトルバイン総合型地域スポーツクラブ ・キッズフットボール教室 ・バドミントン教室 ・サーキット運動教室 など	各クラブの事業計画に基づいて実施	-	全市民	継	スポーツ振興課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
73	3	-(1)	-④	コミュニケーションスペースの整備		利用者同士が触れ合えるスペースの整備を進め、誰もが集えるスポーツ施設を目指す。	滝寺S.C.、高山S.C.で継続して実施中	継続して実施	-	全市民	継	スポーツ振興課
74	3	-(1)	-⑤	緊急用備品の配置	H18～	各体育施設にAED等緊急用備品を配置し、安心して施設を利用できる体制を作る。	各体育施設にAED等緊急用備品を継続して設置。	各体育施設に継続して設置	-	全市民	継	スポーツ振興課
75	3	-(2)	-①	生駒北スポーツセンターへの路線バスの土日延伸	H25～	生駒北スポーツセンターは、公共交通機関がないことから、利用者の利便性向上のため、土日の奈良交通路線バスの延伸を行う。	生駒北スポーツセンター発着 各20本/日 利用人数 計947人	生駒北スポーツセンター発着 各20本/日	-	全市民	継	スポーツ振興課
76	3	-(2)	-①	スポーツイベントにおける送迎バスの運行		スポーツイベントにおける適正な運営を図るため、選手及び関係者の送迎バスを運行する。	市民体育大会中止	3年ぶりに総合開会式も含めて実施したが、規模を縮小して実施したため送迎バスは運行せず	-	大会等参加者	継	スポーツ振興課
77	3	-(2)	-②	インターネットでの施設予約システム	H22～	奈良県電子自治体共同運営システム「e古都なら」を導入することにより、インターネットによる施設の空き状況の確認やネット予約など、利用者の利便性を図る。	インターネット予約件数 4,124件 利用者登録団体 1,130団体	インターネット予約予想件数 未定 利用者登録予想件数 未定	-	全市民	継	スポーツ振興課
78	3	-(2)	-③	体育施設利用ガイドの作成・配置		体育施設の利用ガイドを作成し、体育施設窓口等に配置、体育施設利用者及び体育施設の利用希望者に配布する。	「生駒市スポーツ施設のご案内」等の配置	「生駒市スポーツ施設のご案内」等の配置	-	体育施設利用者・体育施設利用希望者	継	スポーツ振興課
79	3	-(2)	-④	体育施設の相互利用	H22～	生駒市及び平群町の設置する体育施設の相互利用を行うことにより、市民の健康の保持増進を図るもの。	対象施設： (生駒市) TACきらめき、TAC井出山スポーツパーク、むかいやま公園体育施設(平群町) 平群町全体育施設 【生駒市民の利用】 平群町プール中止 平群町総合スポーツセンタートレーニングジム(47人) その他施設：(1,192件 12,991人) 【平群町民の利用】 プール1,031人(大人900人、小人131人)、ジム424人、井出山体育施設(0人)むかいやま公園 体育施設(1件、2人)	対象施設： (生駒市) TACきらめき、TAC井出山スポーツパーク、むかいやま公園体育施設(平群町) 平群町ウォーターパーク 平群町全体育施設	-	全市民 全平群町民	継	スポーツ振興課
80	3	-(2)	-⑤	学校体育施設開放事業 ※3-(1)-③と重複	S55～	子どもを含め地域の社会体育の普及を図り、学校体育施設を学校休業日に地域団体等へ開放する。	小学校 12校 1,608回 中学校 8校 68回	継続して実施	-	全市民	継	スポーツ振興課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
81	3	-(2)	-(6)	施設利用アンケートの実施	H26～	各施設において、サービスの向上を目指した利用者アンケートを実施する。	各体育施設 約1ヶ月間実施	継続して実施	-	施設利用者	継	スポーツ振興課
82	3	-(2)	-(6)	指定管理者モニタリングの実施	H26～	公の施設の適性かつ効率的な運営のため、モニタリングを実施する。	管理運営評価シートに基づき、利用実績、事業収支のほか、市民の平等な利用の確保、サービスの安定性等についても評価 実施時期 9月	継続して実施	-	体育施設指定管理者	継	スポーツ振興課
83	3	-(2)	-(7)	熱中症予防対策の実施	H26～	熱中症による健康被害を起こさないよう、施設利用者への注意喚起及び予防用備品の配備等を行う。	施設使用不可になった場合の振替、還付の制度運用	継続して実施	-	施設利用者	継	スポーツ振興課
84	4	-(1)	-(1)	スポーツ推進委員活動事業	S49～	スポーツ基本法の規定に基づき設置されたスポーツ推進委員により、市民に対して、スポーツ実技の指導やスポーツ活動促進のための組織の育成を行うとともに、市民団体などが行うスポーツに関する行事などに協力するなど、市民に対しスポーツの奨励を行う。	会議 2回 研修会等 3回 実技指導（派遣事業含む）5回	会議 2回 研修会等 5回 実技指導（派遣事業含む）	-	スポーツ推進委員	継	スポーツ振興課
85	4	-(1)	-(2)	市外住民受入対象事業の設置		生駒市の魅力を市外の人知ってもらうとともに、スポーツを通じて広く交流を図るため、市外住民も参加できる事業を設ける。	生駒山スカイウォーク 中止 チャリログエイコム 中止	生駒山スカイウォーク 約400人参加 チャリログエイコム 100人見込み	-	市内外住民	継	スポーツ振興課
86	4	-(1)	-(2)	子育て世代や女性対象スポーツ教室 【総合型地域スポーツクラブ事業】 ※1-(1)-④ 5-(1)-③と重複	H22～	各クラブにおいて子育て世代や女性対象スポーツ教室を設置。	いこ増ッスルクラブ ・ちびっこスポーツバイキングほか リトルパイン総合型地域スポーツクラブ ・親子スポーツ教室 ほか	各クラブの事業計画に基づいて実施	-	全市民	継	スポーツ振興課
87	4	-(1)	-(3)	ファミリースポーツの集い ※1-(1)-① 2-(1)-①と重複	H2～	スポーツによる親睦を図るため、軽スポーツを中心としたレクリエーション活動の場を提供する。	参加チーム数 ソフトバレーボール(3チーム) ドッジボール(4チーム) 軽スポーツ紹介コーナー:62人	参加チーム数 ソフトバレーボール(20チーム) ドッジボール(15チーム) 軽スポーツ紹介コーナー:150人	事務事業の見直しによる「小学生スポーツふれあいデー」の廃止	全市民	継	スポーツ振興課
88	4	-(1)	-(3)	いこまスポーツの日 ※1-(1)-① 2-(1)-① 2-(3)-① 2-(3)-②と重複	R2～	市民総参加型スポーツイベントとして、スポーツ推進委員やスポーツ施設指定管理者、総合型地域スポーツクラブなどと協働・連携して実施。より多くの市民が気軽に参加でき、スポーツをはじめのきっかけや、スポーツに親しんでもらえる1日とするため、リレーマラソンやeスポーツ大会など、新たなプログラムに取り組む。	eスポーツ:57人 バルサアカデミー体験会:63人 リレーマラソン:84人 軽スポーツ:352人 同日にトップアスリート連携事業として、「ねわざ祭@いこま」を開催 66人の参加	継続して実施予定 (「ねわざ祭@いこま」は実施しない)	-	全市民	継	スポーツ振興課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
89	4	-(1)	-④	地域別体力づくり補助金事業	H16～	市民の体力づくりの活動に対し必要な経費の一部を補助することにより広く市民にスポーツを普及し、運動を通じた健康の維持、増進を推進するとともに市民相互の親睦を図る。	北地区：110,387円 南地区：76,220円	継続して実施	-	生駒市5地区 自治会員	継	スポーツ振興課
90	4	-(1)	-⑤	チャリロゲイこま ※2-(1)-②と重複	H26～	生駒市の自然豊かな環境や、高低差のある地理を活用し、地図をもとに制限時間内にチェックポイントを回り、得点を集める「フォトロゲイニング」を自転車でおこなうサイクリングイベント。	中止	100人見込み	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う中止の可能性あり	限定なし	継	スポーツ振興課
91	4	-(2)	-①	総合型地域スポーツクラブの設置・活動支援及び啓発活動事業 ※1-(1)-① 2-(3)-② 5-(2)-②と重複	H22～	総合型地域スポーツクラブの設立を支援し、また、広く市民に周知するため、市内スポーツ関係団体へ啓発を行うとともに、奈良県スポーツ支援センターと連携を図り、総合型地域スポーツクラブ設立についての啓発活動を行う。	・情報の提供 ・市内総合型地域スポーツクラブ3クラブの連携による事業の開催（トップアスリート連携事業） ・市内地域クラブ連携会議の開催	・情報の提供 ・市内総合型地域スポーツクラブの連携による事業の開催（チャリロゲイこま、トップアスリート連携事業） ・市内地域クラブ連携会議の開催	新型コロナウイルス感染拡大による開催自粛による減少が見込まれる	全市民	継	スポーツ振興課
92	4	-(2)	-①	北部スポーツタウン事業 ※1-(1)-① 3-(1)-①と重複	H25～	生駒市北部スポーツタウン構想の実現に向け、生駒北スポーツセンター等を活用し、総合型地域スポーツクラブの推進を図るとともに、誰もが集えるスポーツ施設を目指し、市民のスポーツ活動の活性化を図る。	指定管理者による管理運営 42,706,000円	指定管理者による管理運営 42,706,000円	-	全市民	継	スポーツ振興課
93	4	-(2)	-②	総合型地域スポーツクラブの学校施設活用 ※3-(1)-③と重複	H25～	各クラブの事業運営に際し、学校施設を活用し、地域に開かれた活動を展開する。	リトルバイン総合型地域スポーツクラブ ・キッズフットボール教室 ・バドミントン教室 ・サーキット運動教室 など	各クラブの事業計画に基づいて実施	-	全市民	継	スポーツ振興課
94	4	-(2)	-③	スポーツ指導者養成事業 ※1-(3)-②と重複	H3～	市民の多様化するスポーツ活動に対応するため、スポーツリーダーの登録制度を設け、必要とされるスポーツ指導者の養成事業の経費の一部を補助し、地域におけるスポーツ活動の活性化及び振興を図る。	実績なし	未定	-	全市民	継	スポーツ振興課
95	4	-(2)	-④	学校部活動の地域移行	R3	令和5年度から段階的に実施される学校部活動の地域移行に伴い、奈良県からモデル事業を受託し、市教委や各中学校と市スポーツ協会や市内総合型地域スポーツクラブが連携し運営を行う。	講師派遣 生駒中学校 卓球部 生駒南中学校 野球部 生駒北小中学校 吹奏楽部	前年と同様に実施	-	市内中学校	継	スポーツ振興課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
96	4	-(3)	-①	スポーツリーダーバンクの設置 ※1-(1)-⑥と重複	H24～	スポーツに関する専門的な知識や経験、技能等を有しているリーダーを発掘し、その情報を提供することにより、市民のスポーツ活動の普及・振興を図り、豊かな地域社会に寄与するため設置する。	登録者数 41人 実技指導者 41人 講演・講義者9人(講演・講義者の9名は実技指導と両方登録)	新規登録予想 5人	-	全市民	継	スポーツ振興課
97	4	-(3)	-③	スポーツボランティア登録制度	H14～	スポーツボランティア登録制度を設け、市主催スポーツイベントなどの運営や補助を依頼。また、その経験を生かし、企画立案などを行える人材を育成する。	37人	40人	-	全市民	継	スポーツ振興課
98	4	-(3)	-③	生駒健康ウォーキングマップ歩こう会 (現地指導と名所ガイド)	H30～	生駒健康ウォーキングマップを活用した歩こう会の現地指導や名所等のガイドを実施する。	4回実施 健康づくり推進員延べ 54人 観光ボランティアガイドの会 延べ 49人	歩こう会 年3回(予定) 健康づくり推進員9人/回 観光ボランティアガイドの会 3人/回	天候による開催への影響。コロナ禍における実施方法の変更	生駒市健康づくり推進員連絡協議会 生駒市観光ボランティアガイドの会	継	健康課
99	4	-(3)	-③	生涯学習まちづくり人材バンク登録制度	H25～	舞踊、ダンス、スポーツ・レクリエーション等、様々な分野の知識、技能を有する人材を登録し、情報を提供する。	生涯学習まちづくり人材バンク登録情報の提供 登録件数 50件 活用件数 401件 利用者数 2,937人	継続して実施	-	全市民	継	生涯学習課
100	5	-(1)	-①	各種スポーツ教室の開催 ※2-(1)-① 2-(3)-① 5-(3)-①と重複		初心者を対象として、各スポーツの基本技術の習得及び体力の向上を図るとともに、生涯スポーツ人口の拡大を図るため、各種スポーツ教室を開催する。	18教室 2,065人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止	21教室 5,000人見込み	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う減少が見込まれる	全市民(各教室によって年齢制限あり)	継	スポーツ振興課
101	5	-(1)	-①	エンジョイスポートサッカークリニック ※1-(1)-②と重複	H25～	学校の教育力を地域に還元する取組の一つであり、多くの子どもたちに、サッカーや球技をとおしてスポーツの楽しさや人とふれあうことの大切さを知ってもらうため、県立奈良北高校サッカー部等と連携して開催。	未実施	未定	-	市内に在住、在学している小学生	継	スポーツ振興課
102	5	-(1)	-①	トップアスリート連携事業 ※1-(1)-① 5-(3)-②と重複	H25～	市内体育施設等を活用したトップアスリートと触れ合えるスポーツイベントの開催。	【松田丈志氏講演会】 296人 【東京2020コミュニティサイト】 中止 【東京2020オリンピック聖火リレー】 209人 【トレイルランニング教室】 中止 【Vリーグによるバレー教室】 16人 【オリンピックによるアーチェリー体験会】 40人 【浅香山部屋ちびっこ相撲体験会】 中止 【ねわざ祭@いこま】 66人	【トレイルランニングイベント】 30人 【チャリロゲイこま】 100人 【指定管理者と共催企画】 未定 【浅香山部屋ちびっこ相撲体験会】 未定	-	全市民	継	スポーツ振興課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
103	5	-(1)	-①	各種スポーツイベントにおける青少年参加種目の設定 ※1-(1)-②と重複	S 4 7 ~	市民体育大会の競技に小学生・中学生の部を設置。	市民体育大会は中止 ファミリースポーツの集い ドッジボール(4チーム) 軽スポーツ紹介(体験)コーナー(66人) 小学生水泳競技大会(107人)	市民体育大会 ファミリースポーツの集い ドッジボール(15チーム) 軽スポーツ紹介(体験)コーナー(150人) 小学生水泳競技大会(100人)	-	市内在住・在学している小中学生等	継	スポーツ振興課
104	5	-(1)	-①	子ども対象スポーツ教室 【総合型地域スポーツクラブ事業】 ※1-(1)-②と重複	H 2 2 ~	各クラブにおいて子ども対象スポーツ教室を設置。	いこ増ッスルクラブ ・キッズテニス教室 ・ちびっこスポーツバイキング ほか リトルバイン総合型地域スポーツクラブ ・親子スポーツ教室 ほか プロストリート関西 ・サッカー、フットサル教室 ほか	各クラブの事業計画に基づいて実施	-	市内に在住・在学している小中学生等	継	スポーツ振興課
105	5	-(1)	-①	いこまっこチャレンジ教室	H 2 2 ~	子どもたちが安全に安心して活動できる居場所をつくり、普段経験しないような様々な活動をする機会を設けることによって、今後の活動のきっかけづくりとする。また、地域の大人と交流することによって、地域社会とのつながりを強める。	中止	実施予定回数 2回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	市内在住の小中学生	継	生涯学習課
106	5	-(1)	-③	子育て世代や女性対象スポーツ教室 【総合型地域スポーツクラブ事業】 ※1-(1)-④ 4-(1)-②と重複	H 2 2 ~	各クラブにおいて子育て世代や女性対象スポーツ教室を設置。	いこ増ッスルクラブ ・ちびっこスポーツバイキングほか リトルバイン総合型地域スポーツクラブ ・親子スポーツ教室 ほか	各クラブの事業計画に基づいて実施	-	全市民	継	スポーツ振興課
107	5	-(1)	-④	スポーツ少年団活動の支援		県スポーツ少年団親善競技大会参加及び交流大会を実施した市スポーツ少年団登録団体にに対し支援を行う。	登録団体 6団体(バスケット2、卓球1、サッカー2、レスリング1) 団員123人 指導者29人	登録団体 6団体(バスケット2、卓球1、サッカー2、レスリング1) 団員150人 指導者35人	-	市スポーツ少年団登録団体	継	スポーツ振興課
108	5	-(2)	-①	学校・地域連携事業への支援	H 2 2 ~	学校と地域の連携によるスポーツ事業を支援する。	障がい福祉ネットワークや子育て支援活動への協力支援 各自治会・PTA事業へのスポーツ備品貸し出し等	継続して実施	-	全市民	継	スポーツ振興課
109	5	-(2)	-①	学校を通じてのスポーツイベントの周知		学校との連携により、学校を通じてスポーツイベントの周知を図る。	学校へのパンフレット配布及び学校を通じての参加集約 ・小学生水泳競技大会 ・IKOMAマラソンチャンピオンシップ ほか	継続して実施	-	市内に在住、在学している小学生	継	スポーツ振興課
110	5	-(2)	-①	スクールボランティア事業	H 1 8 ~	子どもたちがよりよい学習環境の中で安心して校園生活が送れるよう地域の方たちに積極的に校園活動に関わってもらい、地域と校園の相互協力・連携の充実・強化を図る。	全28校園 ボランティア登録数 1,183人	全28校園 ボランティア登録数 1,200人	-	全市民 地域住民 園児・児童・生徒	継	教育総務課 こども課

スポーツ等に関する事業調査(事業報告用)

No.	分野1	分野2	分野3	事業名	開始年度	事業内容	令和3年度事業実績	令和4年度事業計画	増減理由	対象	新継	担当課
111	5	-(2)	-①	PTA協議会の活動支援	H25～	PTA協議会への支援。	PTA協議会の運営等に関する補助金交付 PTA協議会がおこなう研究大会への補助金交付	継続して実施	-	全市民	継	生涯学習課
112	5	-(2)	-②	総合型地域スポーツクラブの設置・活動支援及び啓発活動事業 ※1-(1)-① 2-(3)-② 4-(2)-①と重複	H22～	総合型地域スポーツクラブの設立を支援し、また、広く市民に周知するため、市内スポーツ関係団体へ啓発を行うとともに、奈良県スポーツ支援センターと連携を図り、総合型地域スポーツクラブ設立についての啓発活動を行う。	・情報の提供 ・市内地域クラブ連携による事業の開催 (トップアスリート連携事業) ・市内地域クラブ連携会議の開催	・情報の提供 ・市内地域クラブ連携による事業の開催 (チャリロゲいこま、トップアスリート連携事業) ・市内地域クラブ連携会議の開催	-	全市民	継	スポーツ振興課
113	5	-(2)	-③	総合型地域スポーツクラブと学校との連携事業	H26～	総合型地域スポーツクラブと学校が連携し、交流事業及び派遣事業を行い、総合型地域スポーツクラブの認知度向上と運動部活動の支援を図る。 【県補助による総合型地域スポーツクラブ事業…平成28年度で県補助事業終了】	実績なし	未定	-	中学生	継	スポーツ振興課
114	5	-(2)	-③	部活動支援事業	H28～	地域の人材を外部指導者として中学校に派遣し、部顧問と協力して指導助言を行わせることにより、部活動を充実させる。	指導者派遣 生駒中、生駒南中、生駒北中、緑ヶ丘中、鹿ノ台中、上中、光明中、大瀬中	指導者派遣 生駒中、生駒南中、生駒北中、緑ヶ丘中、鹿ノ台中、上中、光明中、大瀬中	R2から各校2名までの枠を撤廃	中学生	継	教育指導課
115	5	-(3)	-①	各種スポーツ教室の開催 ※2-(1)-① 2-(3)-① 5-(1)-①と重複		初心者を対象として、各スポーツの基本技術の習得及び体力の向上を図るとともに、生涯スポーツ人口の拡大を図るため、各種スポーツ教室を開催する。	18教室 2,065人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止	21教室 5,000人見込み	-	全市民(各教室によって年齢制限あり)	継	スポーツ振興課
116	5	-(3)	-②	トップアスリート連携事業 ※1-(1)-① 5-(1)-①と重複	H25～	市内体育施設等を活用したトップアスリートと触れ合えるスポーツイベントの開催。	【松田文志氏講演会】 296人 【東京2020コミュニティサイト】 中止 【東京2020オリンピック聖火リレー】 209人 【トレイルランニング教室】 中止 【Vリーガーによるバレー教室】 16人 【オリンピックによるアーチェリー体験会】 40人 【浅香山部屋ちびっこ相撲体験会】 中止 【ねわざ祭@いこま】 66人	【トレイルランニングイベント】 30人 【チャリロゲいこま】 100人 【指定管理者と共催企画】 未定 【浅香山部屋ちびっこ相撲体験会】 未定	-	全市民	継	スポーツ振興課
117	5	-(3)	-②	体育施設指定管理者によるアスリート招聘事業	H27～	体育施設指定管理者の自主事業として、アスリートを招聘し講座等のイベントを開催する。	TAC(東京アスレティッククラブ) ・松田文志氏講演会 296人 ・元Vリーガーによるバレー教室 16人	各指定管理者の事業計画に基づいて実施	-	全市民	継	スポーツ振興課

生 教 ス 第 58 号

令和 4 年 6 月 27 日

生駒市スポーツ推進審議会

会 長 池 田 誠 也 様

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

(公 印 省 略)

(仮称) 第 2 次生駒市スポーツ推進計画の策定について

このことについて、生駒市スポーツ推進審議会条例（平成 8 年条例第 23 号）第 2 条
第 1 号の規定により、貴審議会の意見を求めます。

諮問趣旨

本格的な人口減少と少子高齢化のさらなる進行が見込まれる中、多様化する市民ニーズに適切に応え、身近な地域で市民一人ひとりがスポーツを継続的に実践できるスポーツ環境を整備するため、平成29年2月に「生駒市スポーツ推進計画（生駒市スポーツ振興基本計画後期計画）」を策定し、令和2年度には、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し次期計画を検討する必要があることから、令和5年度まで計画期間を延長しています。

「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」の奈良県開催が令和13年度に予定されていることや、「生駒市公共施設マネジメント推進計画」「生駒市個別施設計画」に基づく施設の適正配置についての検討、さらに、学校における働き方改革を踏まえた部活動の地域移行、ICTを活用したスポーツ環境の整備など、地域スポーツを取り巻く環境は、大きな変革期を迎えています。

このように、持続可能なスポーツ環境の構築が求められている中、生駒市スポーツ推進計画の期間が令和5年度で終了するため、現在の市民のスポーツニーズ等の現状把握や分析、また、これまでの検証と評価を行い、次期計画を策定する必要があります。

つきましては、生駒市スポーツ推進審議会に対し、下記検討期間内に「（仮称）第2次生駒市スポーツ推進計画」の答申をいただきたく、諮問いたします。

記

検討期間 令和6年2月29日まで

(仮称)第2次生駒市スポーツ推進計画策定等スケジュール(案)

本市スポーツ推進の基本的な方針を示す「生駒市スポーツ推進計画」が、令和５年度で計画期間が終了するため、次期計画となる「(仮称)第２次生駒市スポーツ推進計画」を策定する。

【策定等のスケジュール】

- ・ 令和 4 年度 スポーツに関する市民意識調査（前回調査：平成 27 年度）
 ※スポーツ施設のあり方について、スポーツ関係団体へのアンケートの
 実施などで広く市民の意見を聴取
- ・ 令和 5 年度 （仮称）第 2 次生駒市スポーツ推進計画策定
 ※前回策定：平成 22 年度（平成 28 年度見直し、令和 2 年度改訂）
 ※計画策定に関する会議等の開催（4 回程度の開催を予定）
- ・ 令和 6 年度～ （仮称）第 2 次生駒市スポーツ推進計画各施策の推進

●市の主な関連計画

- ・生駒市総合計画（第3期）：令和元年度～令和5年度（5年間）
 - ・第2次生駒市教育大綱：令和2年6月～令和6年5月（4年間）
 - ・生駒市公共施設マネジメント推進計画：令和2年度～令和11年度（10年間）
 - ・生駒市個別施設計画：令和2年度～令和11年度（10年間）
- ※廃止対象となっている施設については、R4～R5にかけて方向性の検討を進める

●国、奈良県のスポーツ計画

- ・国（文部科学省）：第3期スポーツ基本計画（令和4年度～令和8年度）
[令和4年3月25日策定]
- ・県（スポーツ振興課）：奈良県スポーツ推進計画（平成25年度～令和4年度）
[見直し] 奈良県スポーツ推進計画（平成30年度～令和4年度）